



JFE

JFEグループ
インベスターズ・ミーティング

2014年7月30日
JFEホールディングス



目 次

- JFEグループ2014年度第1四半期決算
及び 2014年度業績見通し
 - JFEスチール
 - JFEエンジニアリング
 - JFE商事
 - JFEホールディングス

- 中間配当について

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



JFEグループ
2014年度 第1四半期決算



JFE

JFEホールディングス

2014年度第1四半期決算

(単位: 億円)

	2013年度 4-6月	2014年度 4-6月	増減
売上高	8,398	9,276	878
営業利益	250	313	63
営業外損益	102	33	▲ 69
経常利益	352	346	▲ 6
特別損益	0	▲ 70	▲ 70
税前利益	352	276	▲ 76
税・少持	▲ 122	▲ 121	1
当期利益	229	155	▲ 74



JFE

JFEホールディングス

2014年度第1四半期決算

セグメント別売上高/経常利益

(単位: 億円)

	2013年度 4-6月	2014年度 4-6月	増減
鉄鋼事業	6,232	7,035	803
エンジニアリング事業	454	614	160
商社事業	4,223	4,621	398
調整額	▲ 2,511	▲ 2,994	▲ 483
売上高	8,398	9,276	878
鉄鋼事業	262	307	45
エンジニアリング事業	▲ 5	▲ 14	▲ 9
商社事業	50	50	0
調整額	44	4	▲ 40
経常利益	352	346	▲ 6

JFEグループ

2014年度 連結業績見通し



JFE

2014年度業績見通し

JFEホールディングス

対前年度

(単位:億円)

	2013年度実績		2014年度見通し		増減	増減
	上期	年間	上期	年間	上期	年間
売上高	17,283	36,668	19,000		1,717	
営業利益	590	1,533	700		110	
営業外損益	153	203	0		▲ 153	
経常利益	743	1,736	700	1,800	▲ 43	64
特別損益	▲ 36	▲ 131	▲ 70		▲ 34	
税前利益	706	1,605	630		▲ 76	
税・少持	▲ 229	▲ 581	▲ 230		▲ 1	
当期利益	477	1,023	400		▲ 77	

ROS

4.3%

4.7%

3.7%

-0.6%



JFE

2014年度業績見通し

セグメント別売上高/経常利益

対前年度

(単位:億円)

	2013年度実績		2014年度見通し		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
鉄鋼事業	12,949	26,916	14,400		1,451	
エンジニアリング事業	1,072	2,841	1,400		328	
商社事業	8,558	17,813	9,600		1,042	
調整額	▲ 5,297	▲ 10,902	▲ 6,400		▲ 1,103	
売上高	17,283	36,668	19,000		1,717	
鉄鋼事業	559	1,262	600	1,400	41	138
エンジニアリング事業	21	184	0	160	▲ 21	▲ 24
商社事業	104	215	105	240	1	25
調整額	59	73	▲ 5	0	▲ 64	▲ 73
経常利益	743	1,736	700	1,800	▲ 43	64



JFEスチール

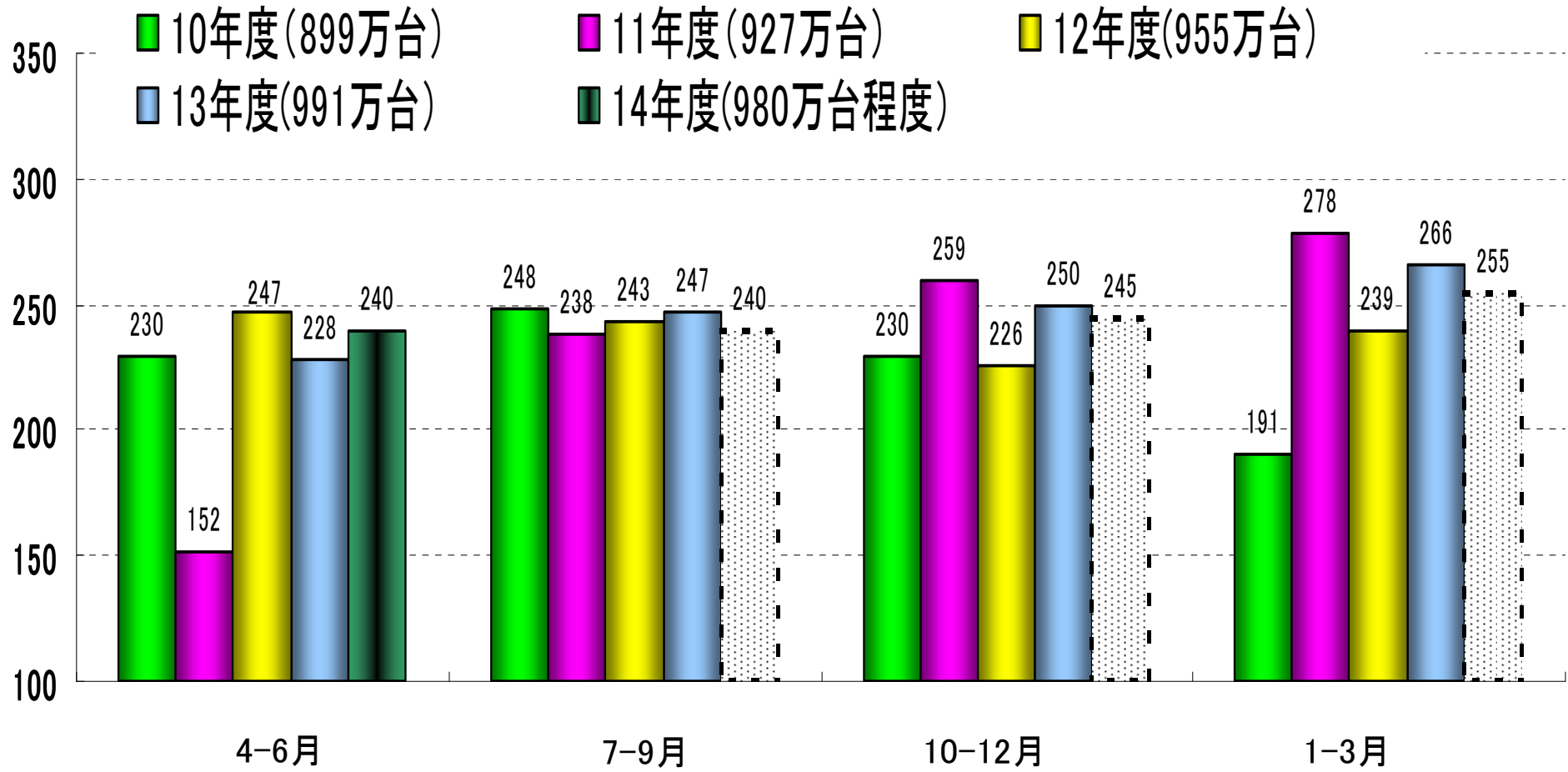
2014年度 業績見通し



JFE

(万台)

国内販売環境（自動車生産台数）



当社予測



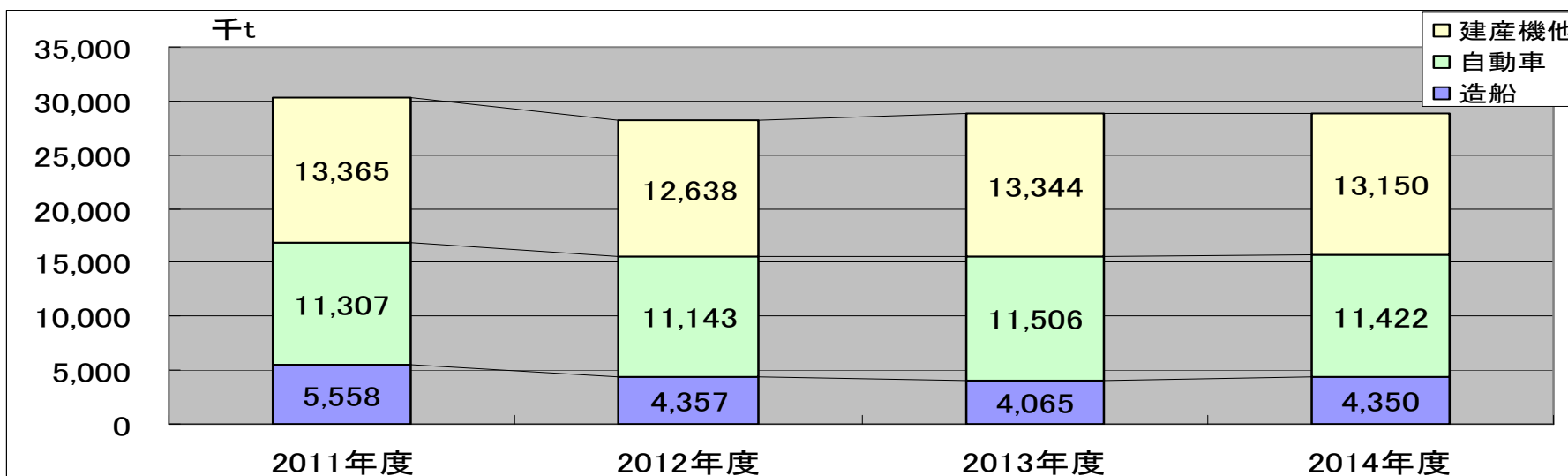
国内販売環境（製造業向け鋼材需要）

2014年度：消費税の反動減あるもトータルでは昨年度並みと予想

- ・自動車：ほぼ昨年並み
- ・造船：堅調（対前年約10%増）
- ・他（建産機他）：排ガス規制の反動減あるも底堅く推移

当社予測 千t

	2011年度(実)	2012年度(実)	2013年度(予)					2014年度(予)				
			1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
造船	5,558	4,357	952	1,010	1,050	1,053	4,065	1,047	1,071	1,104	1,126	4,350
自動車	11,307	11,143	2,720	2,852	2,908	3,026	11,506	2,787	2,790	2,841	3,004	11,422
建産機他	13,365	12,637	3,136	3,375	3,431	3,402	13,344	3,242	3,301	3,310	3,297	13,150
計	30,230	28,137	6,808	7,237	7,389	7,481	28,915	7,076	7,162	7,255	7,427	28,920





国内販売環境（建築・土木向け鋼材需要）

JFE

2014年度：住居用建築分野で消費税率UPによる反動減影響を受けるが、民間設備投資は堅調に推移し、非住居および民間土木で需要の増加が見込まれる。

(千t)

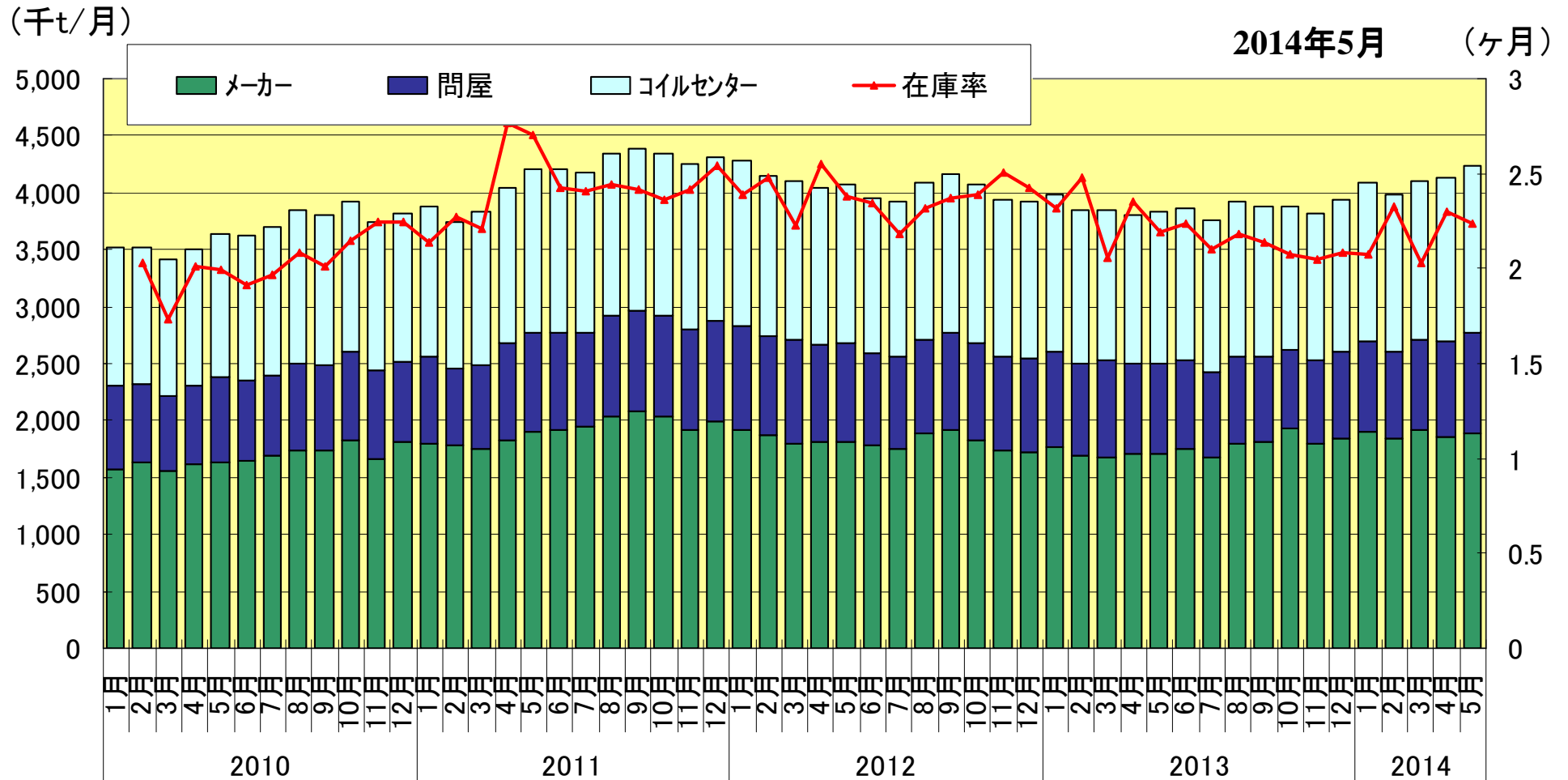
	2011年度	2012年度	2013年度(予)				計	2014年度(予)				計
			1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	4Q	
全居住用	5,314	5,617	1,451	1,584	1,631	1,492	6,158	1,408	1,397	1,395	1,352	5,552
非居住用	8,322	9,127	2,437	2,604	2,549	2,424	10,014	2,381	2,511	2,581	2,636	10,109
建築分野計	13,636	14,744	3,888	4,188	4,180	3,916	16,172	3,789	3,908	3,976	3,988	15,661
公共土木	3,908	4,388	980	1,176	1,353	1,257	4,766	1,075	1,183	1,261	1,104	4,623
民間土木	1,640	1,694	433	414	424	466	1,737	445	435	447	480	1,807
土木分野計	5,548	6,082	1,413	1,590	1,777	1,723	6,503	1,520	1,618	1,708	1,584	6,430
建築・土木計	19,184	20,826	5,301	5,778	5,957	5,639	22,675	5,309	5,526	5,684	5,572	22,091

当社予測



JFE

国内販売環境 (薄板3品在庫)

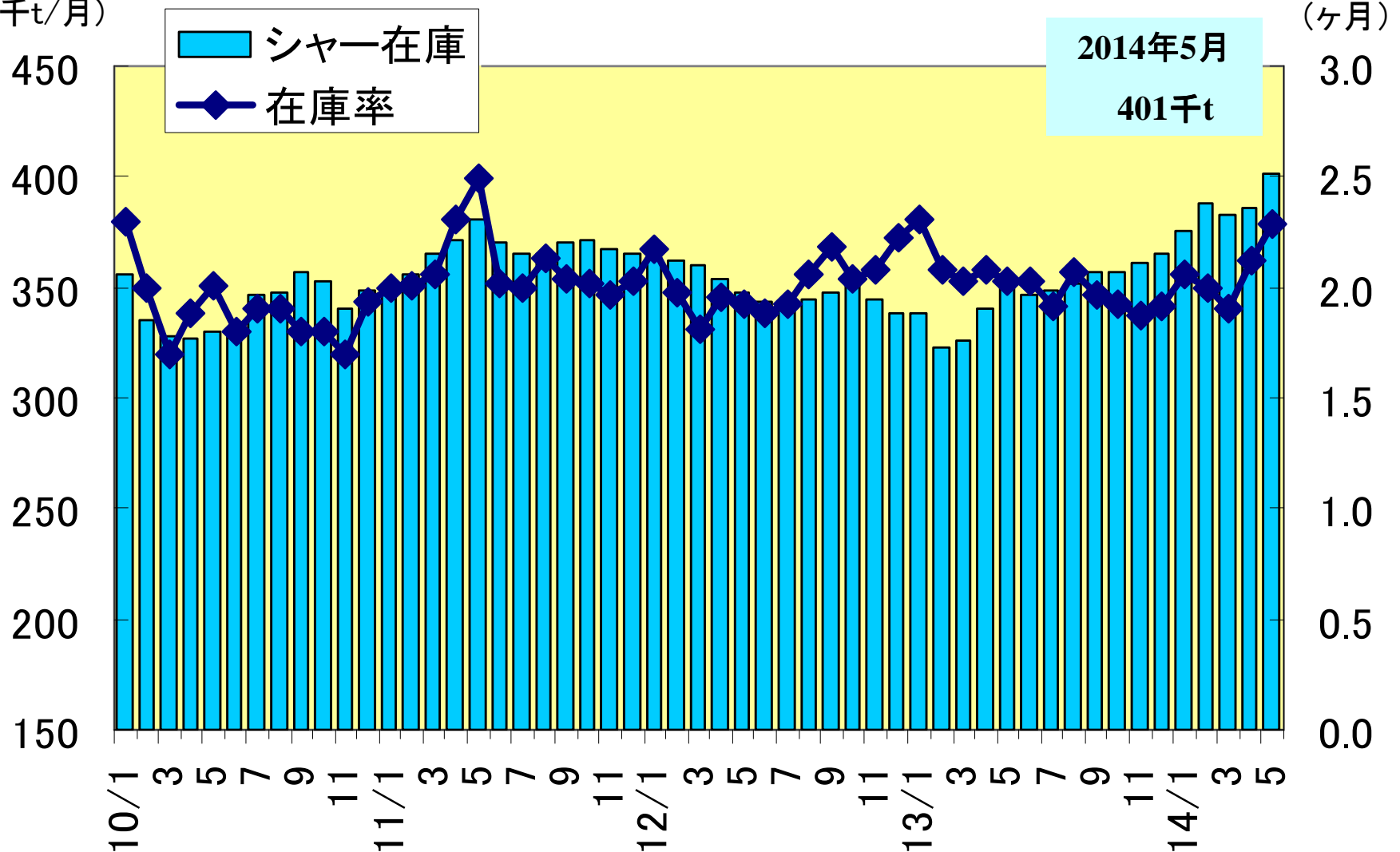




国内販売環境 (厚板シャー在庫)

JFE

(千t/月)





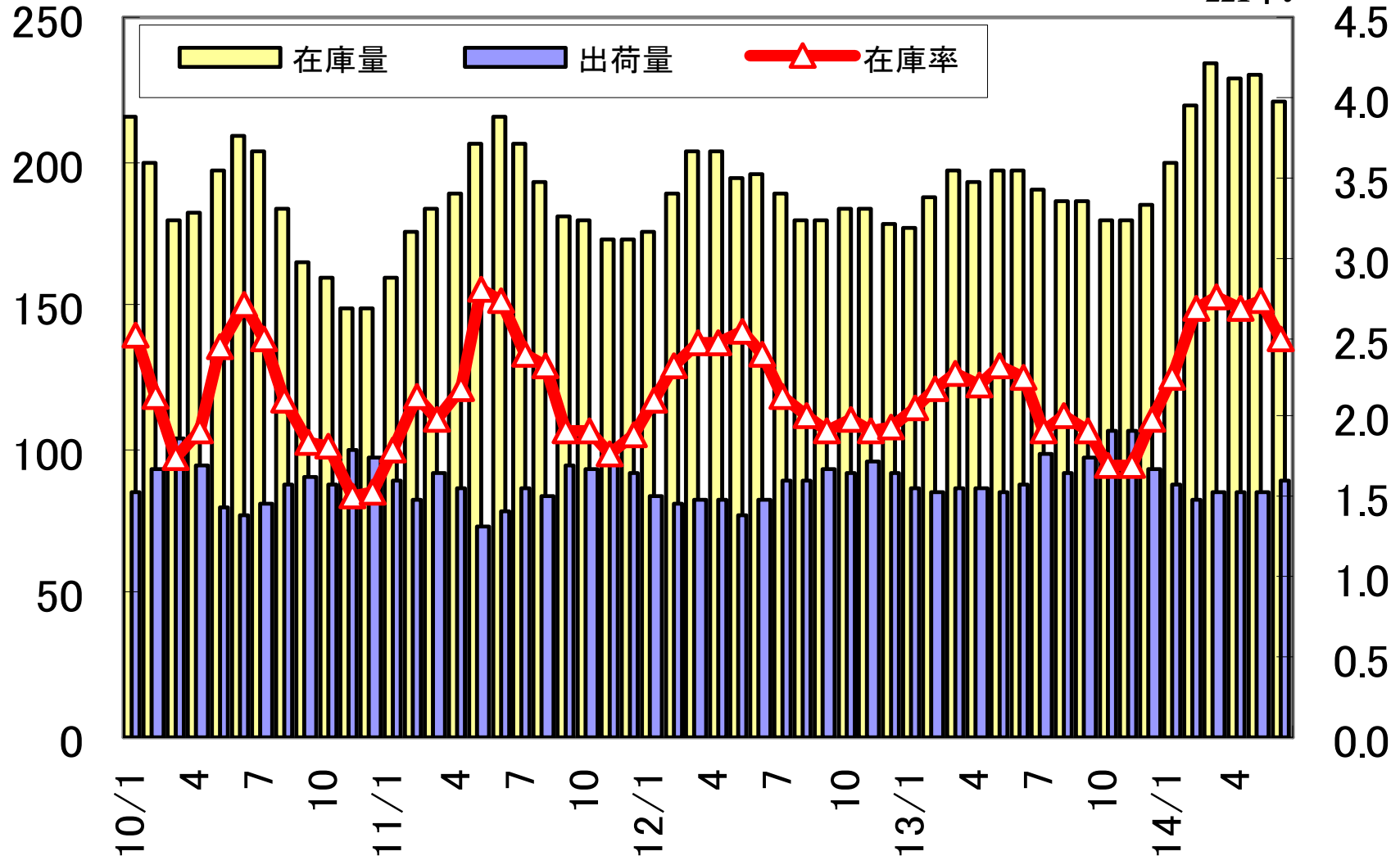
国内販売環境(H形鋼在庫)

JFE
(千t/月)

2014年6月

221千t

(ヶ月)



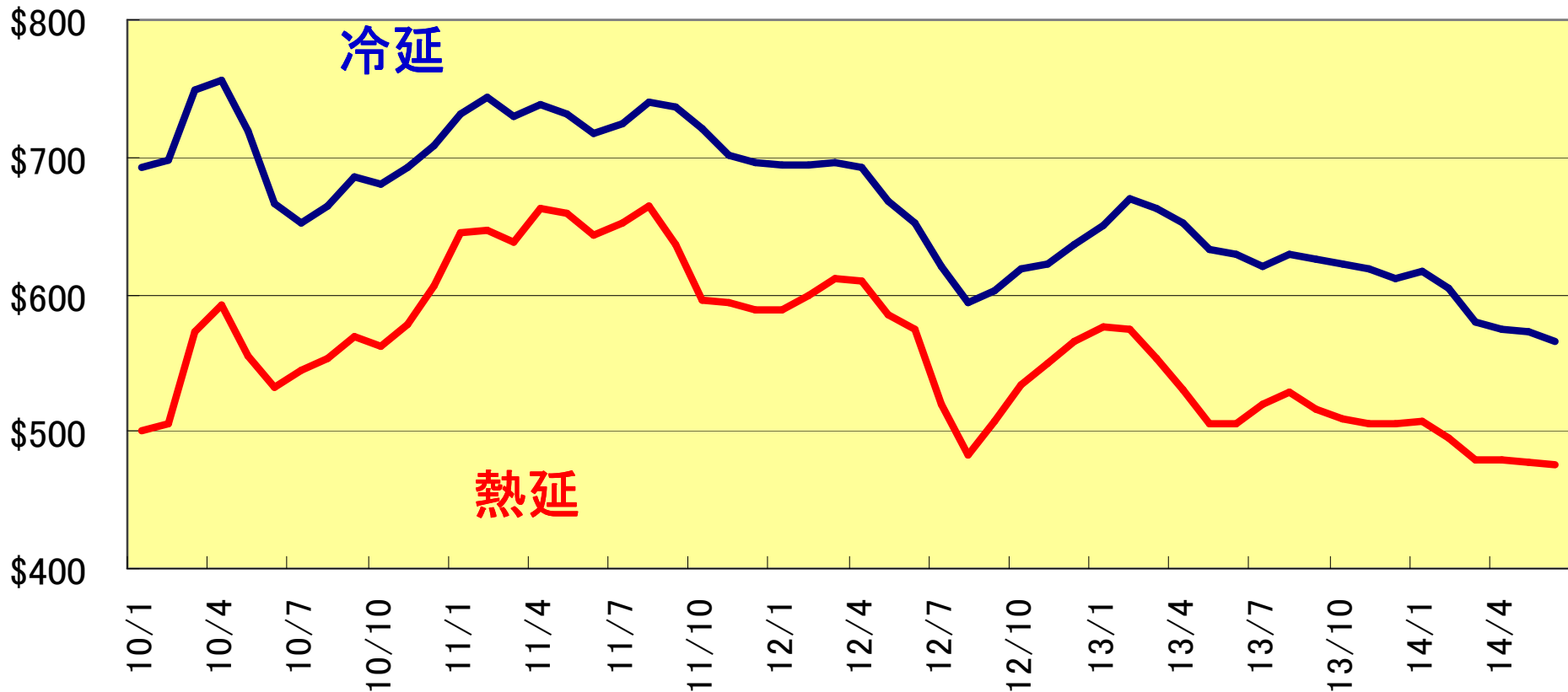


JFE

輸出販売環境（中国薄板価格）

主原料価格がドルベースで下落基調の一方、中国市況は、3月以降、ほぼ横ばいに止まっている状況。

(US\$ / ton)

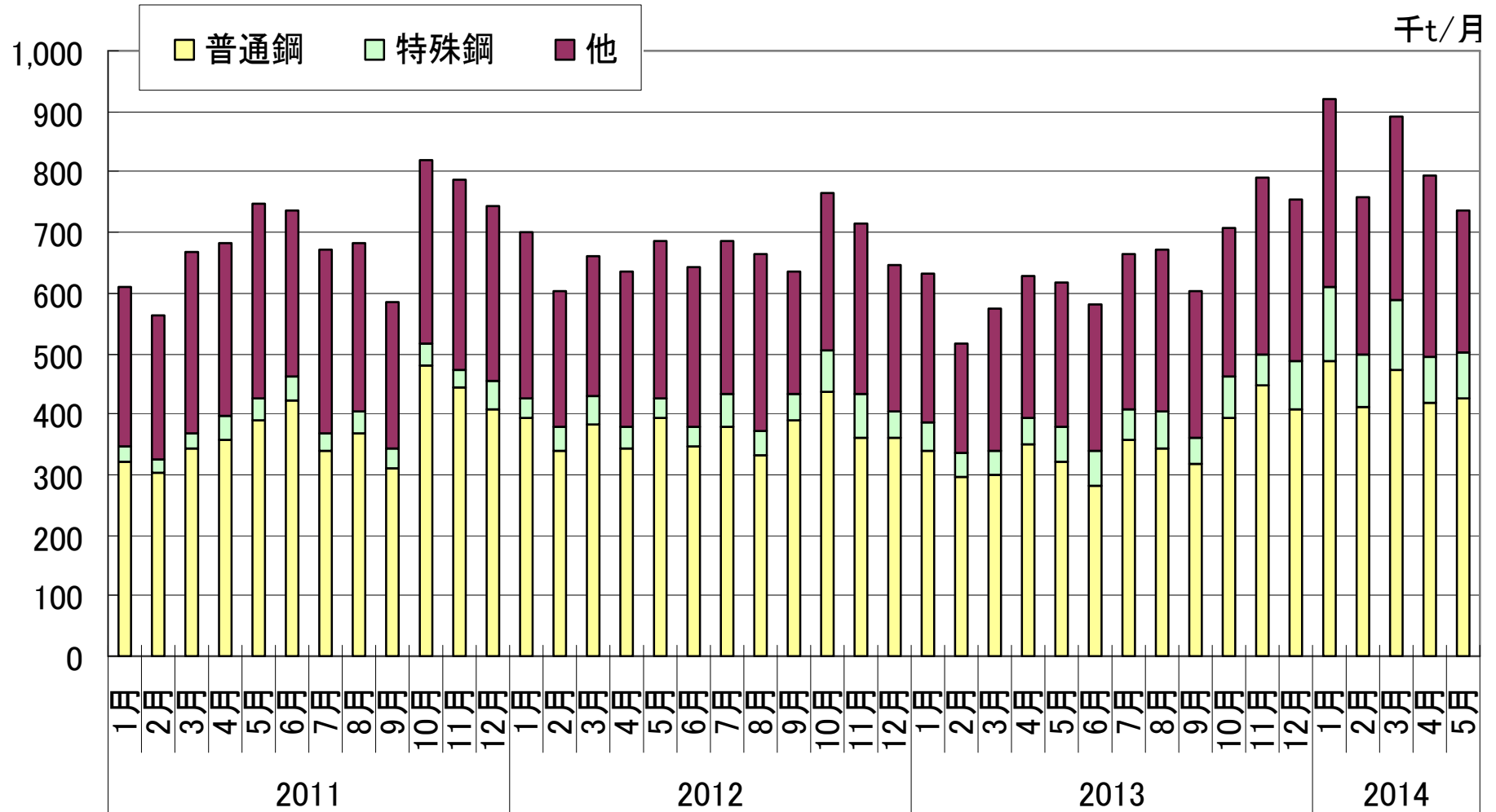


Notes: Figures does not include value-added tax. Prices are average from 21 regions of China.



JFE

国内販売環境 (輸入鋼材: 品種別)

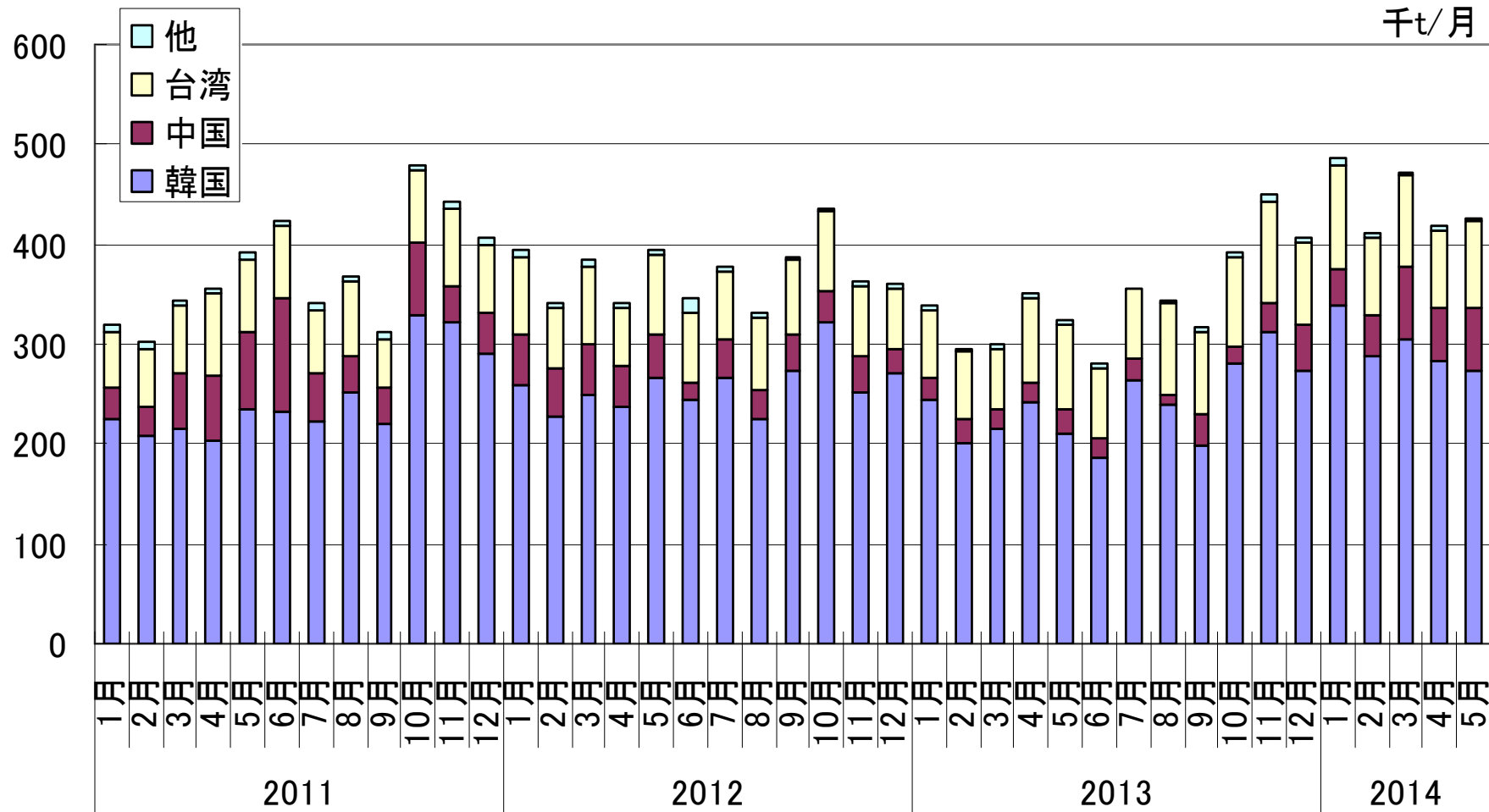




国内販売環境 (輸入鋼材: 国別)

JFE

(普通鋼)

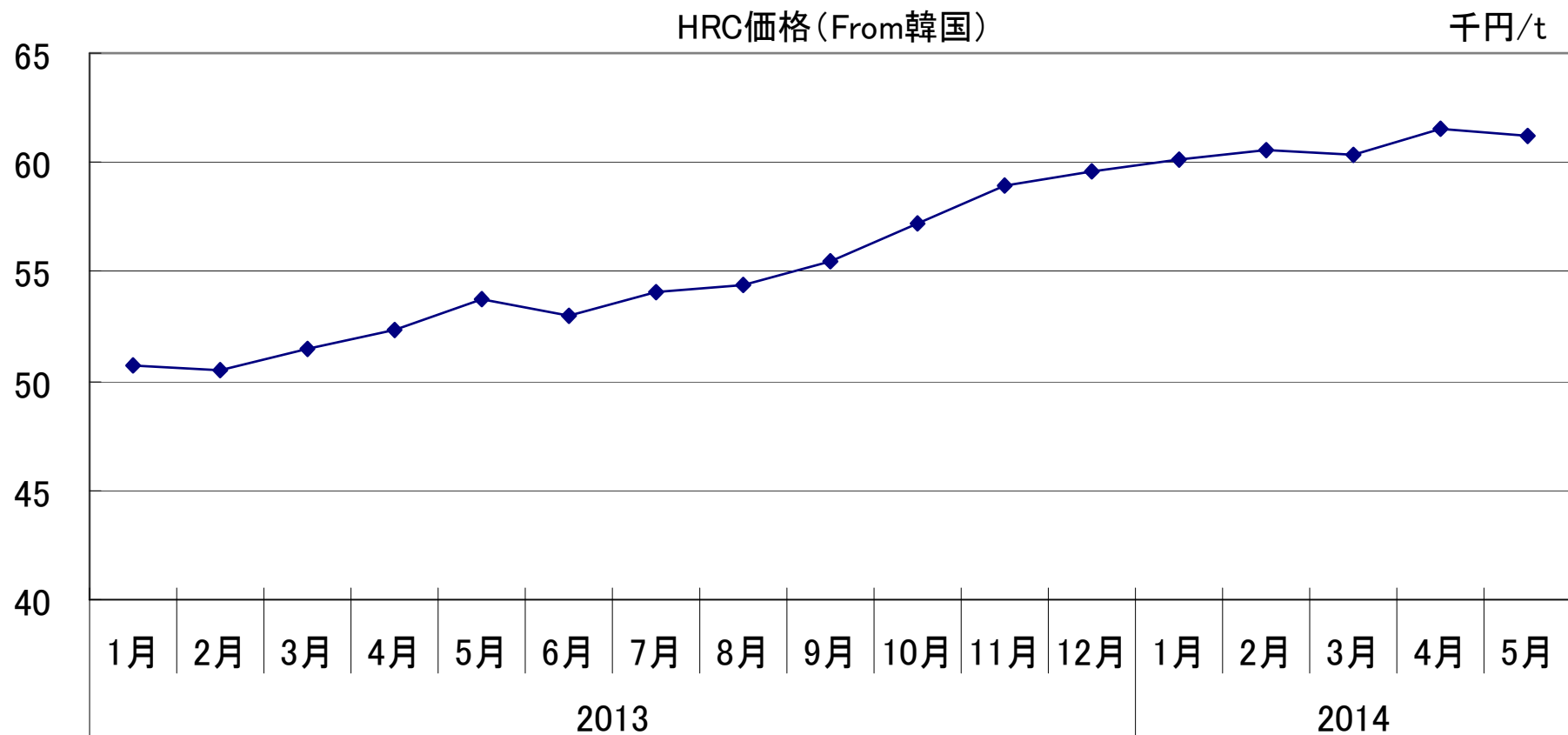




JFE

参考：国内販売環境（輸入鋼材：価格）

韓国からの輸入鋼材の価格は、昨年1月以降約10,000円/t上昇している



日本鉄鋼連盟データより作成



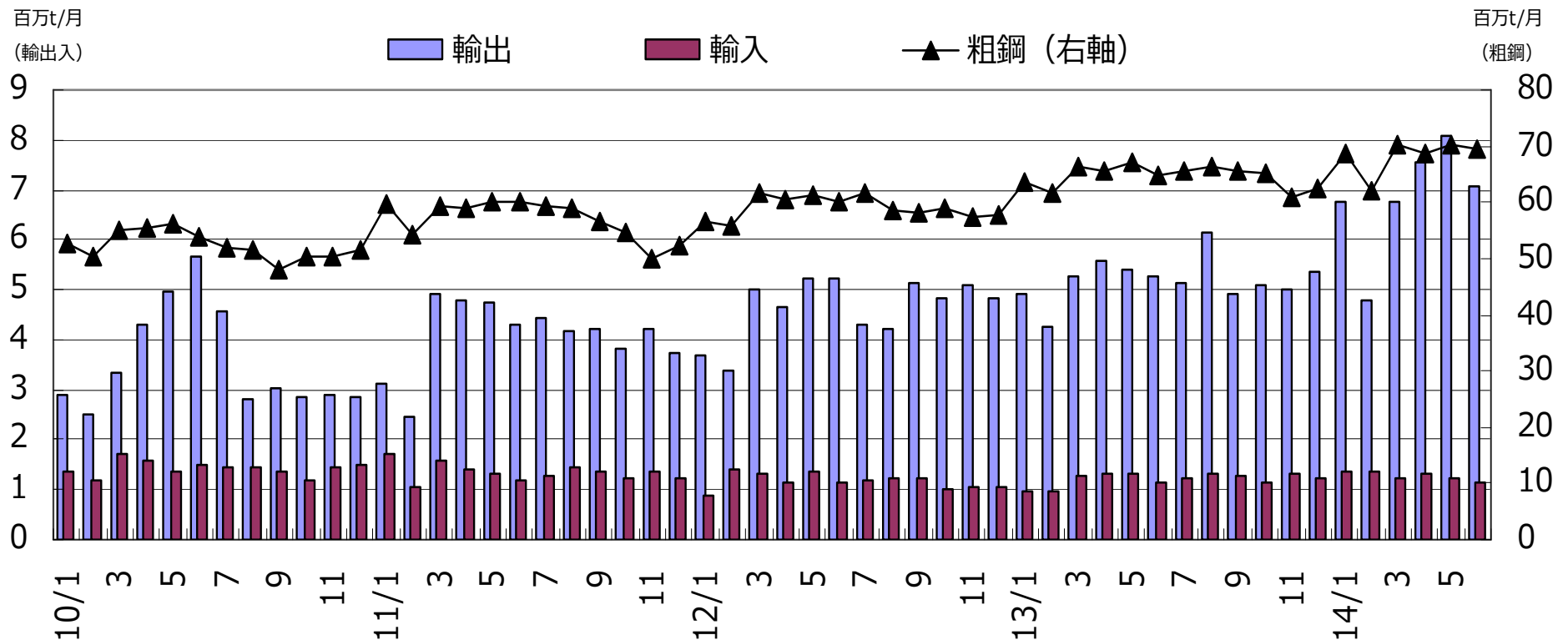
輸出販売環境（中国粗鋼・輸出入）

JFE

中国 6月粗鋼： 69.29百万t [日当たり:4月2. 29、5月2. 27、6月2. 31 = 新記録]

中国輸出： 6月 7. 07百万t(前月比▲1. 00百万t、前年同月比+1. 92百万t)

5月には8百万tを超えたが、各国輸入規制や、元高のトレンド等により6月は前月比減。

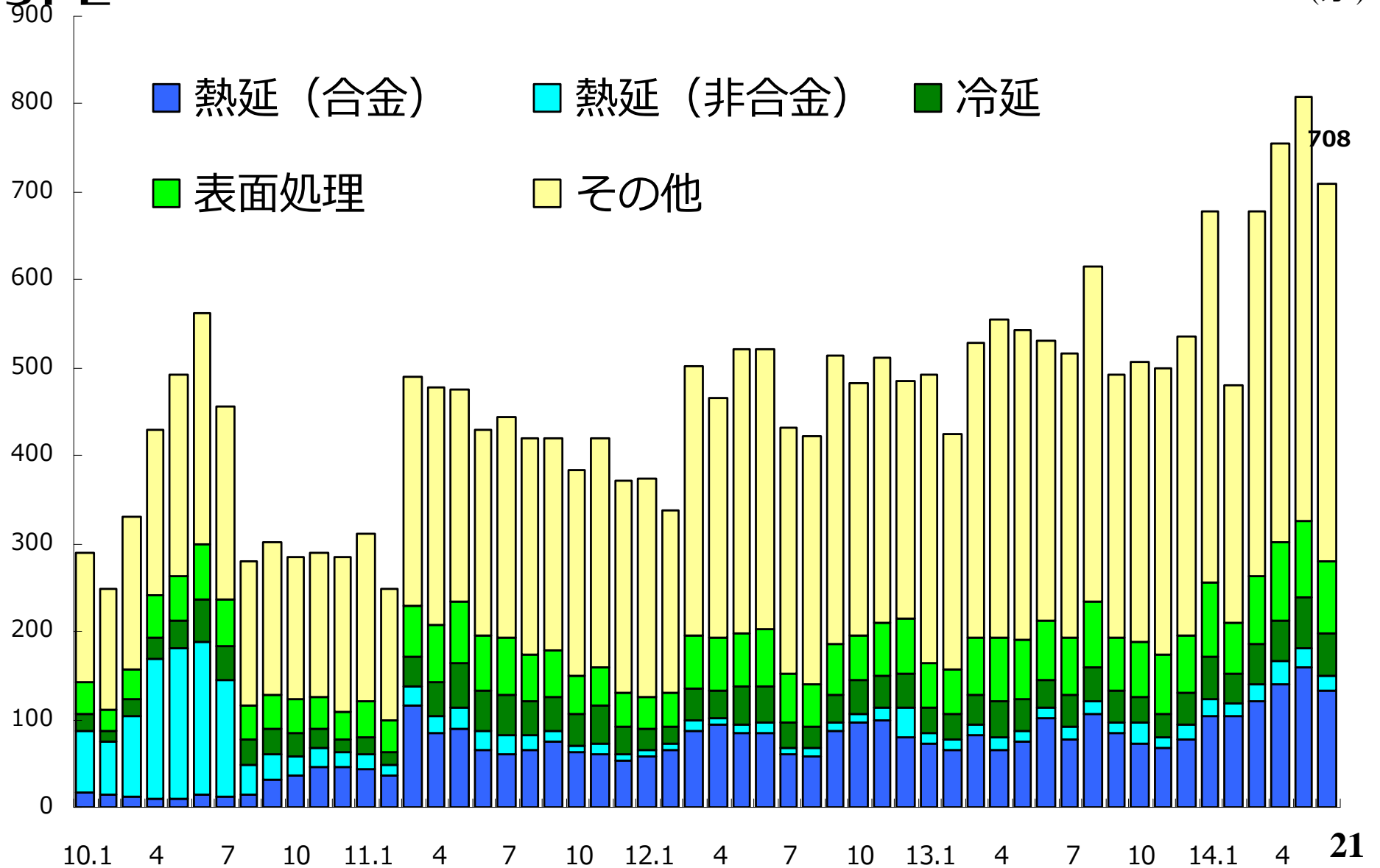




JFE

輸出販売環境（中国品種別・輸出量）

(万t)

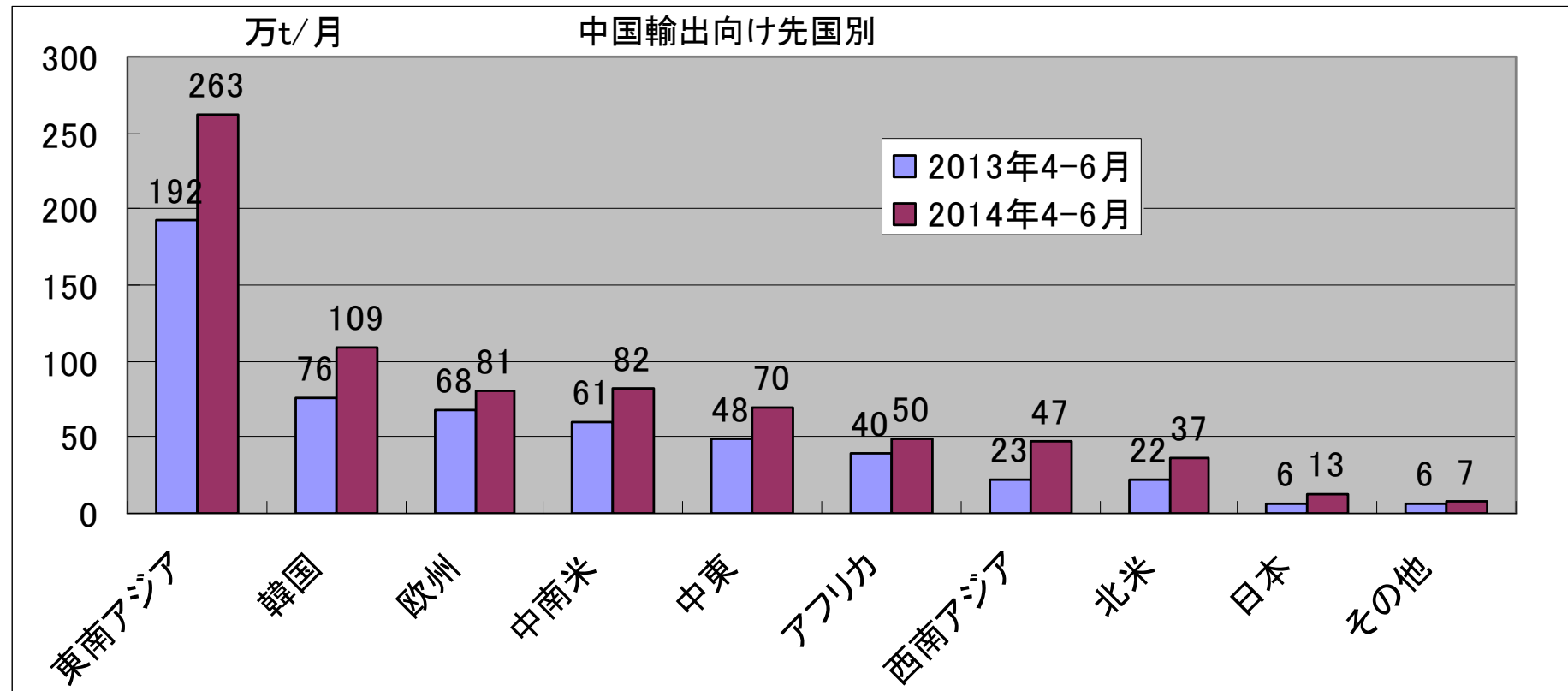




JFE

参考) 中国輸出相手国別

絶対量としては東南アジア、韓国で約半分を占めており、その傾向に変化はない。
対日輸出は増加傾向にあるが、数量は13万t程度(約2%)。

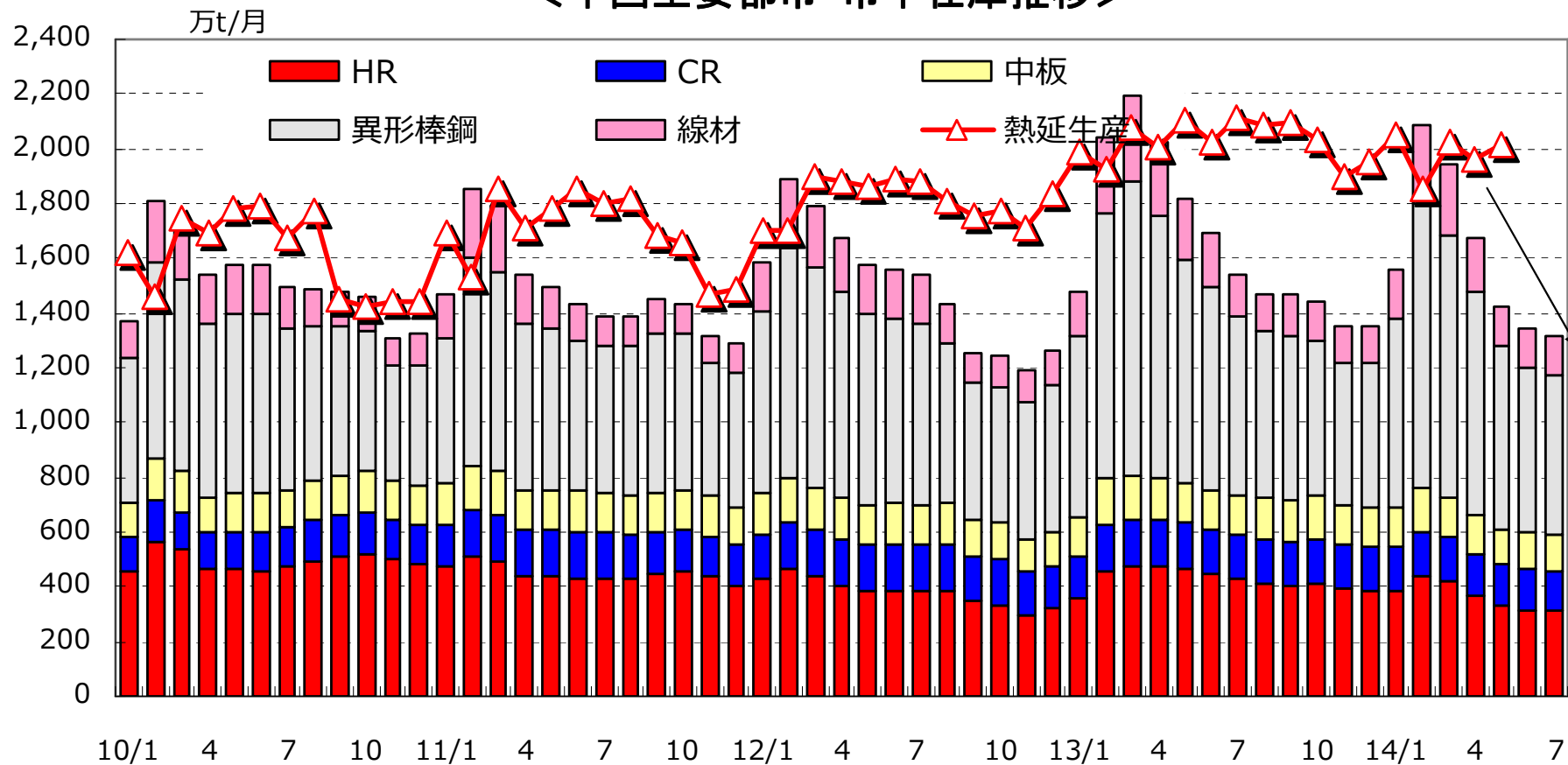




輸出販売環境（中国在庫）

14年3月以降は対前年比で減少。中国ミルは依然として高い生産水準を維持しており、今後も注視が必要。

＜中国主要都市・市中在庫推移＞





輸出販売環境(中国ミル別粗鋼・品種別)

JFE

<粗鋼生産>

規模に関わらず増加トレンド。

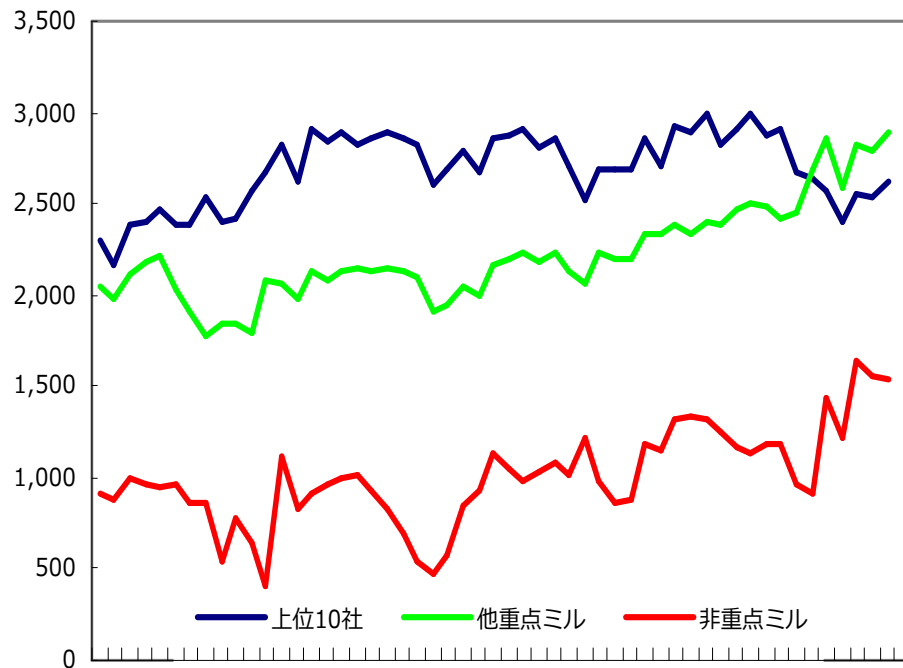
<鋼材生産>

13年12月に河北集団の一部が離脱(上位10社⇒他重点へ組み換え)

条鋼を中心に、季節パターンで減少したレベルから急増している。

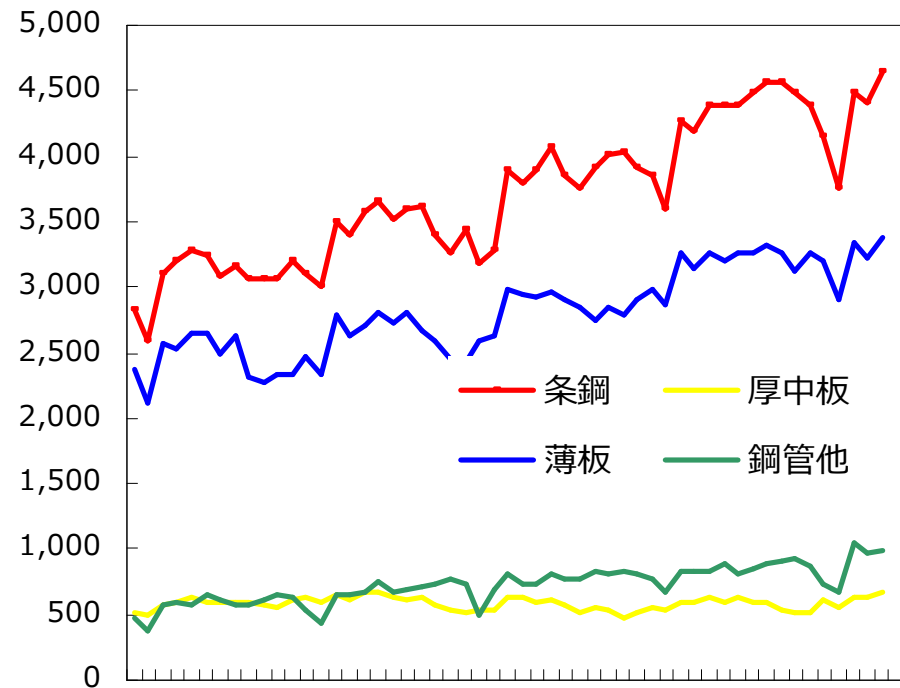
<中国ミル別粗鋼生産実績>

万t



<中国品種別鋼材生産実績>

万t



10/1 7 11/1 7 12/1 7 13/1 7 14/1

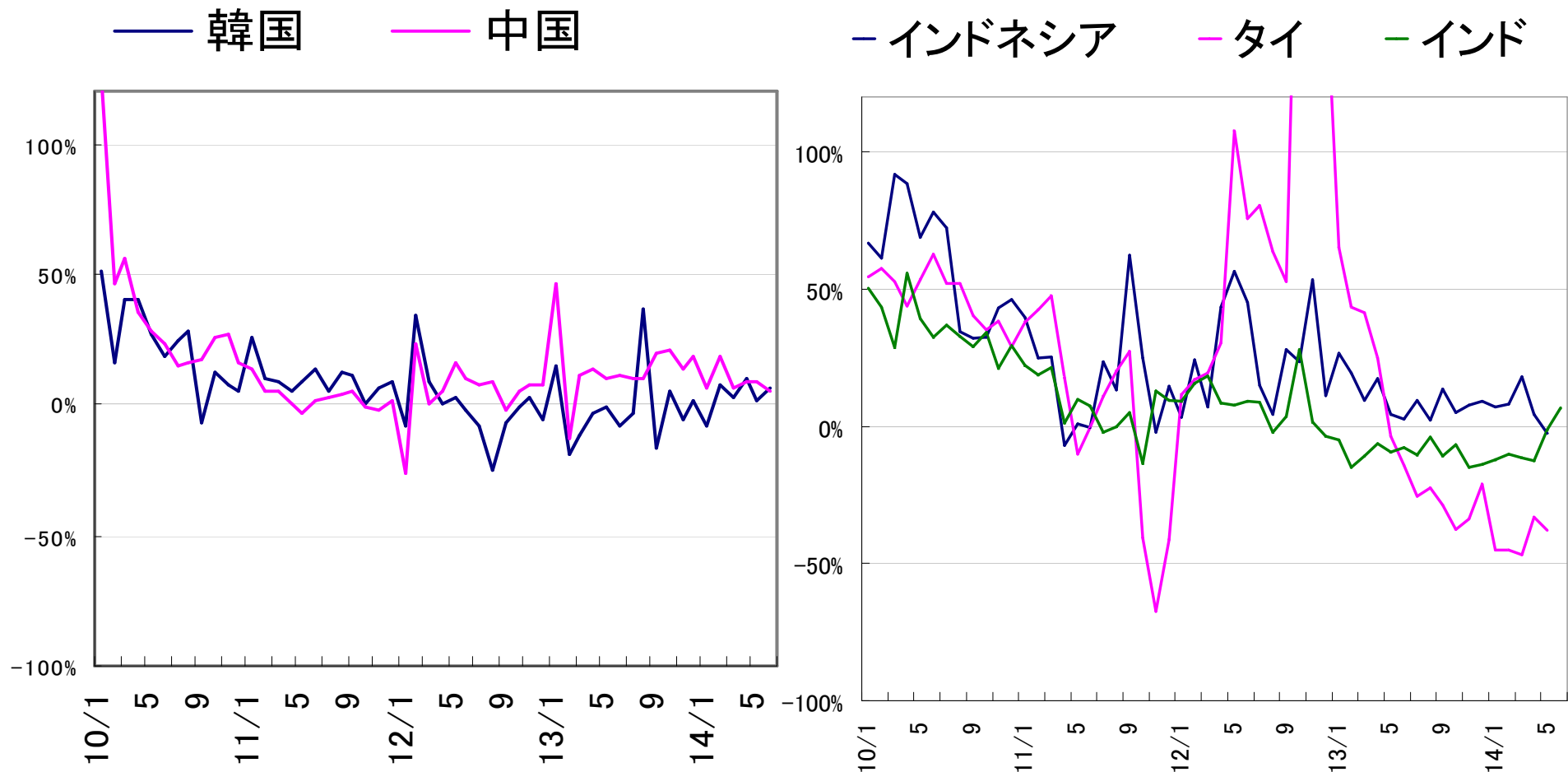
10/1 7 11/1 7 12/1 7 13/1 7 14/1



輸出販売環境（主要国自動車販売）

中国：国内販売は好調。高レベルとなった前年並みを維持。
 タイ：政情不安の影響で、国内販売は前年を大きく下回るレベルで推移。

自動車販売台数(対前年同月比)





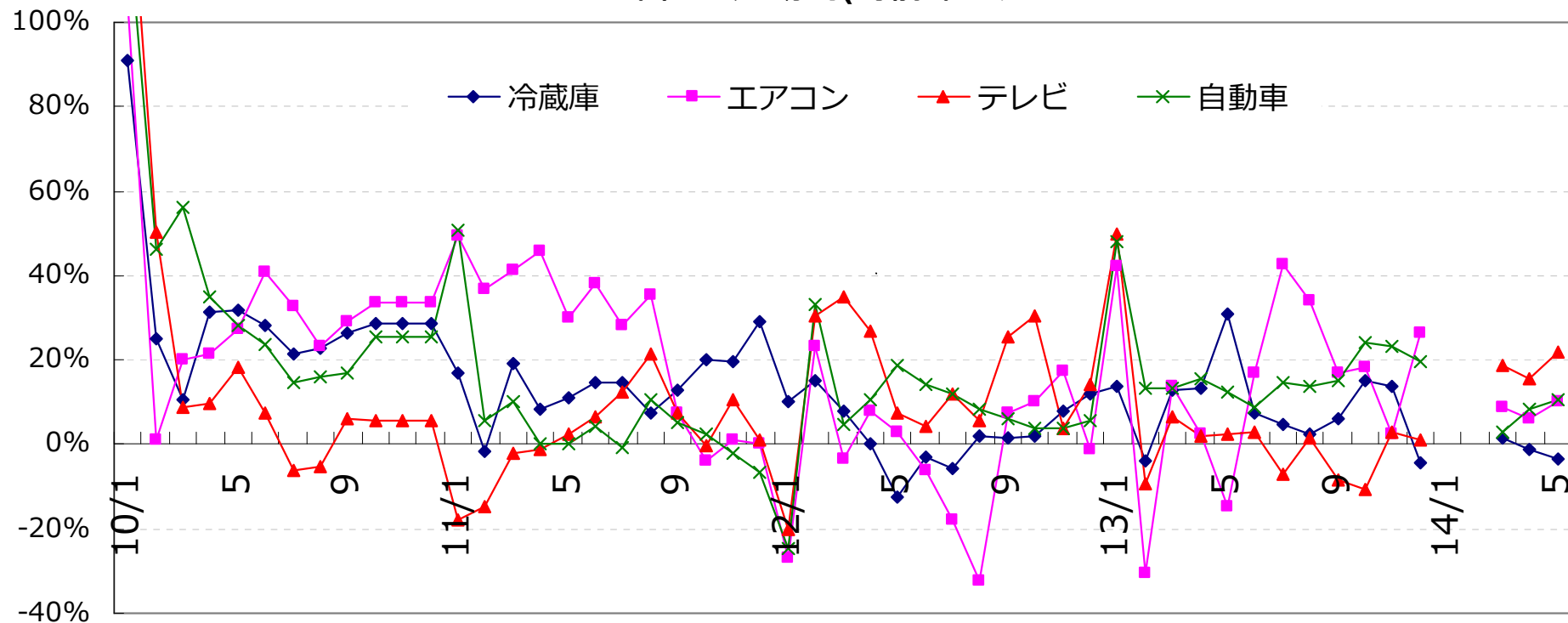
輸出販売環境（中国生産動向）

JFE

自動車生産は、好調な販売を背景に堅調に推移している。

他の分野の生産も、ばらつきあるものの、概ね前年並みか上回るレベル。

中国生産動向(対前年比)

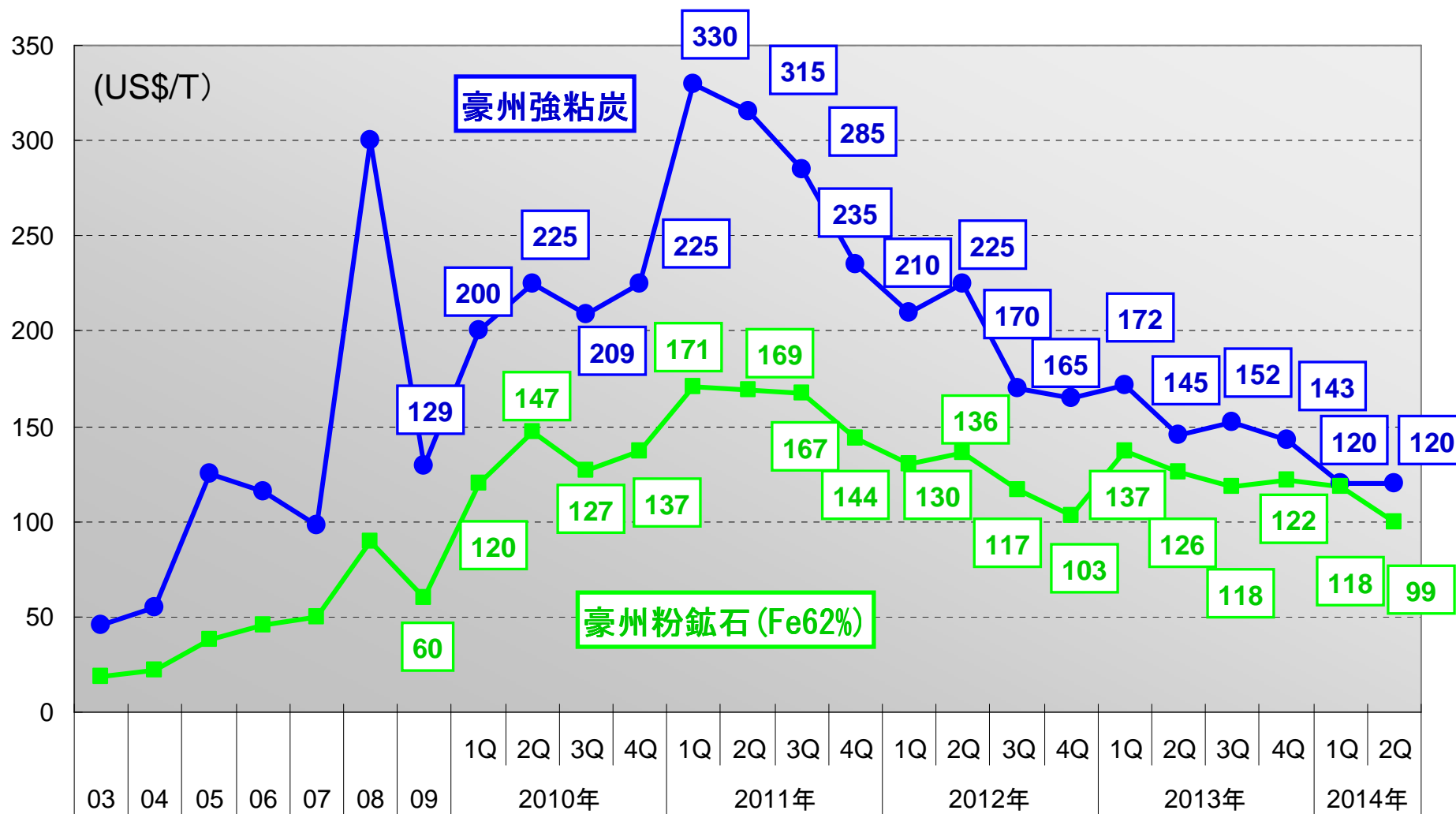


※Source: Production, exports and imports:—Japan Iron and Steel Federation, “China Steel Statistics”

※14年1,2月のデータ: n/a



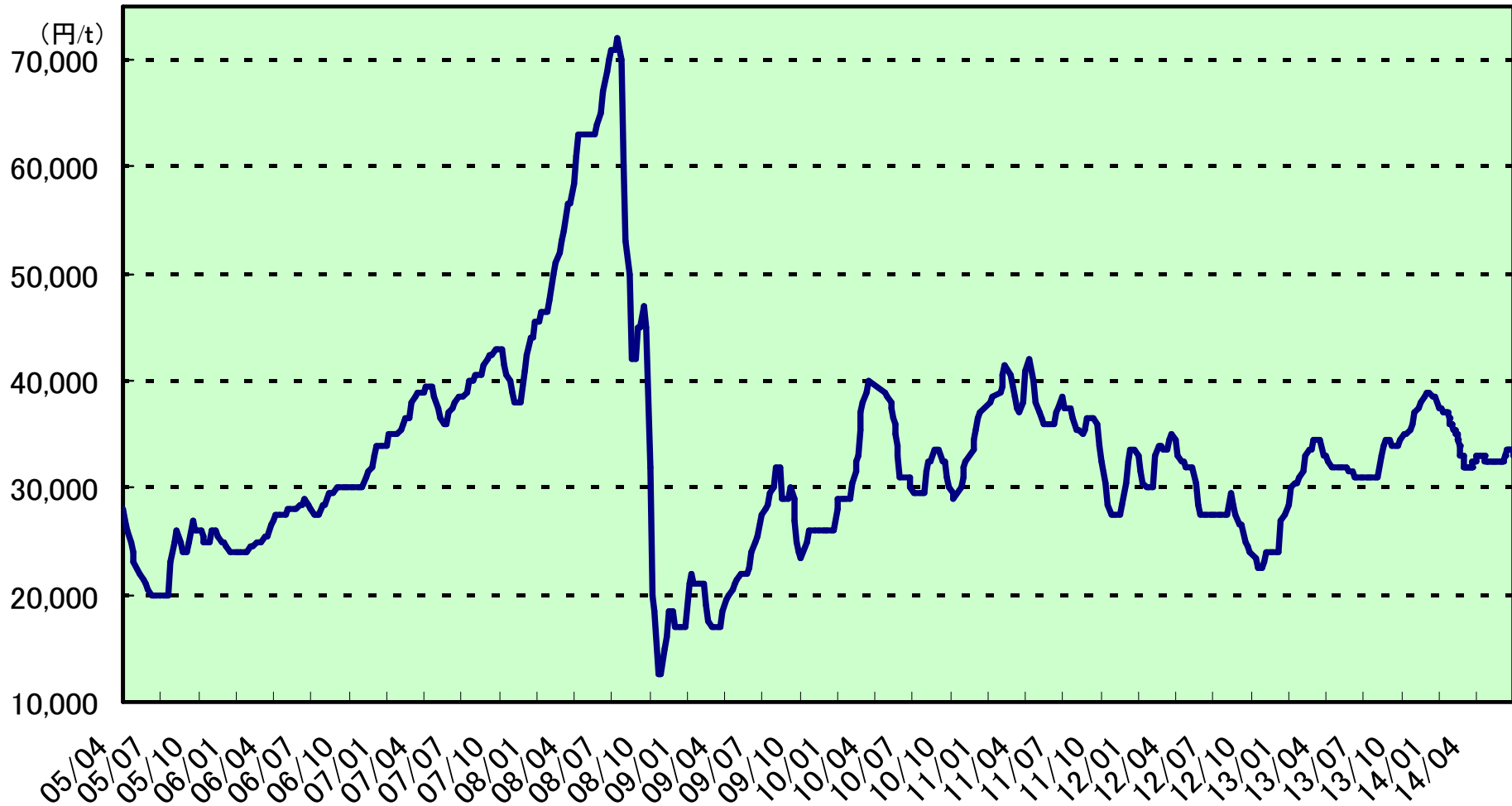
主原料価格推移





JFE

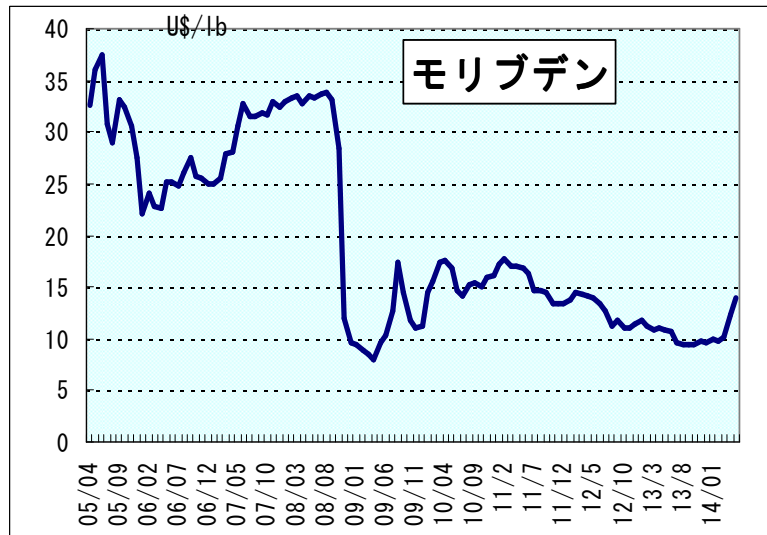
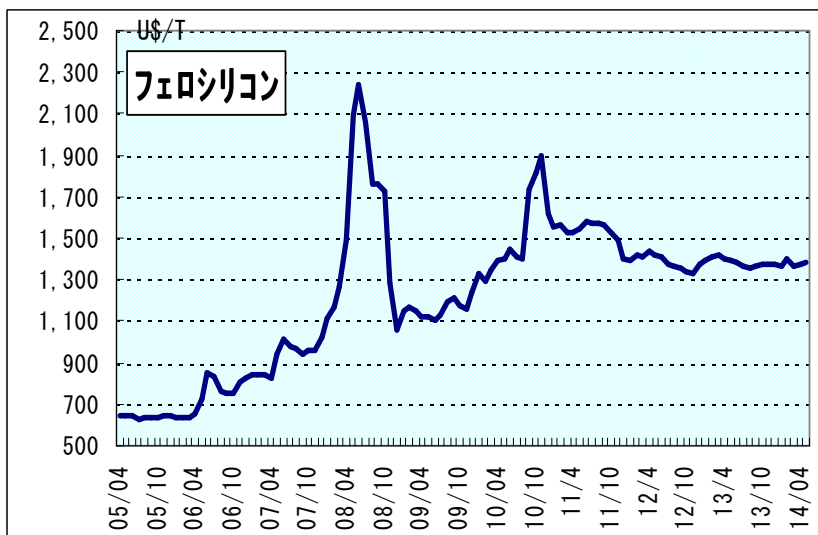
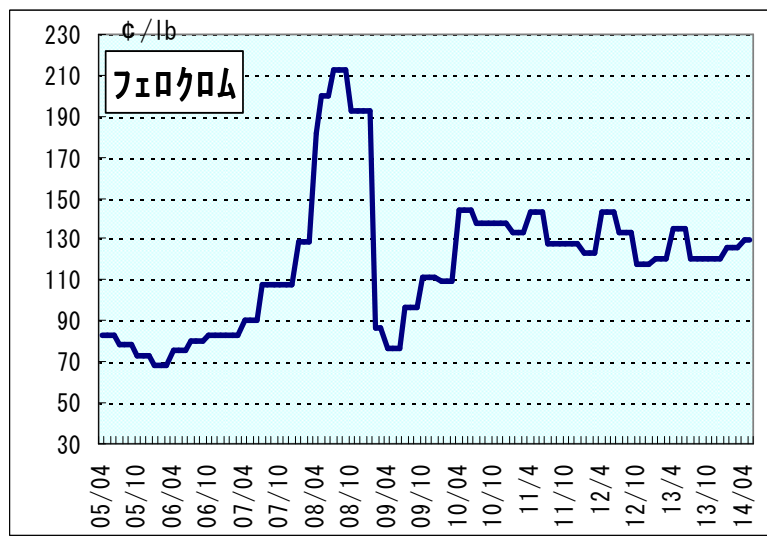
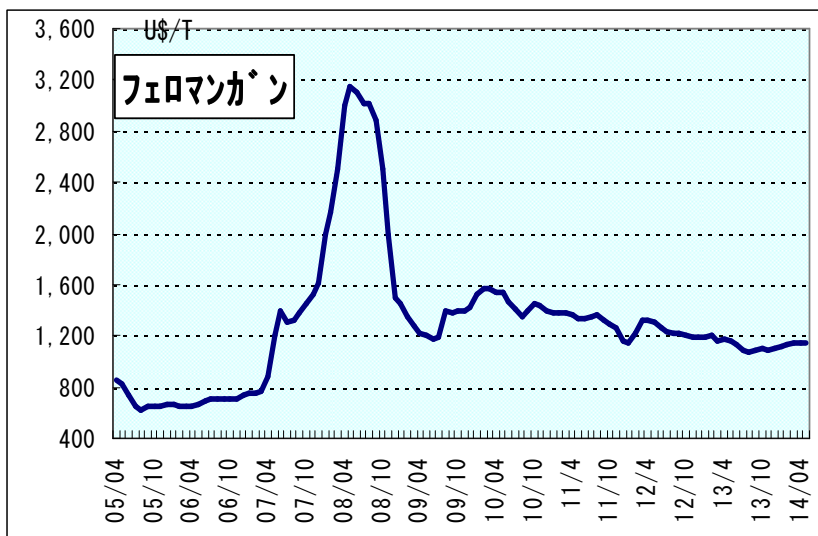
原料市況(スクラップ価格推移)





JFE

参考：原料市況（金属類価格推移）



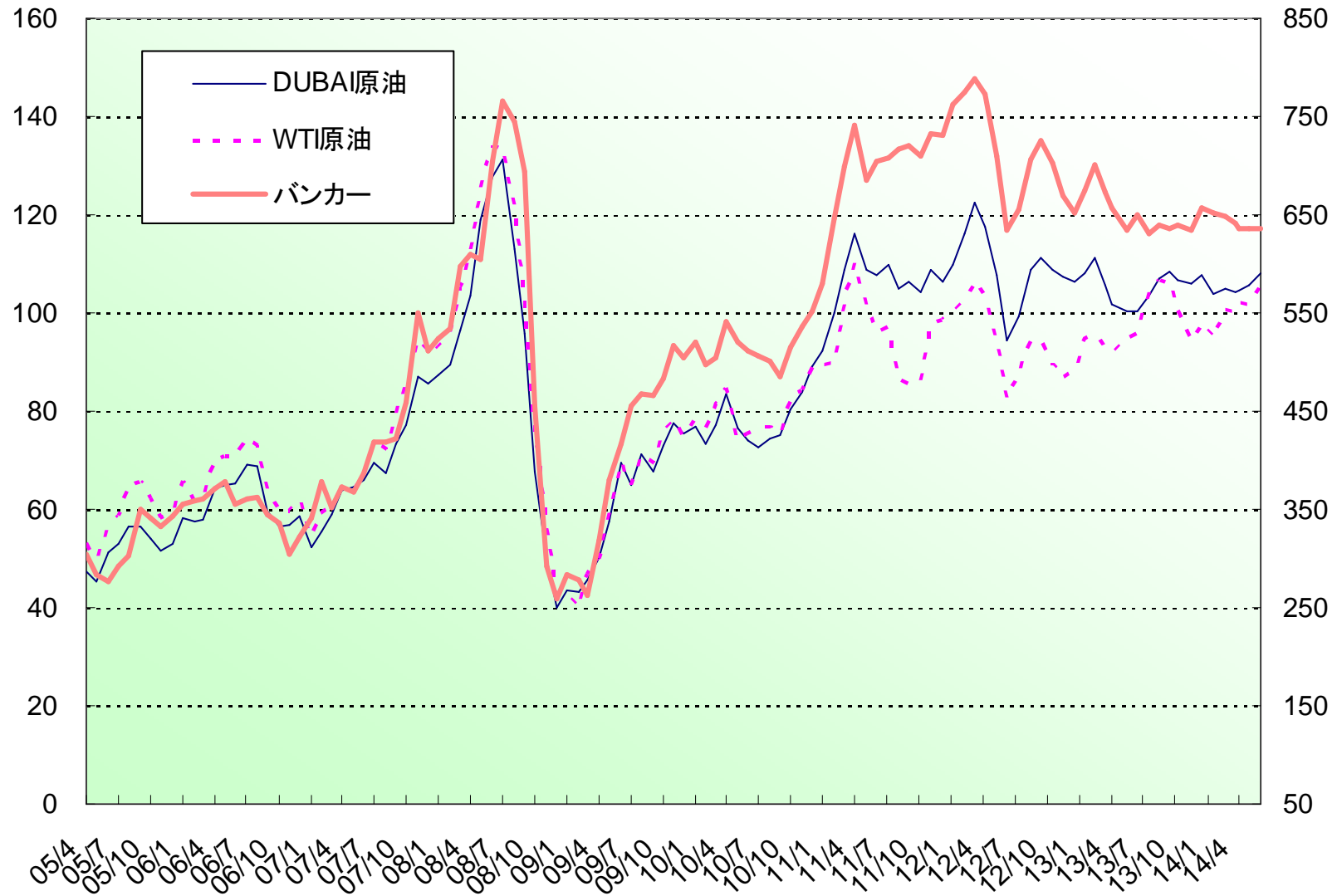


JFE

原料市況 (原油・バンカー価格推移)

(原油 : \$/bbl)

(バンカー : \$/T)

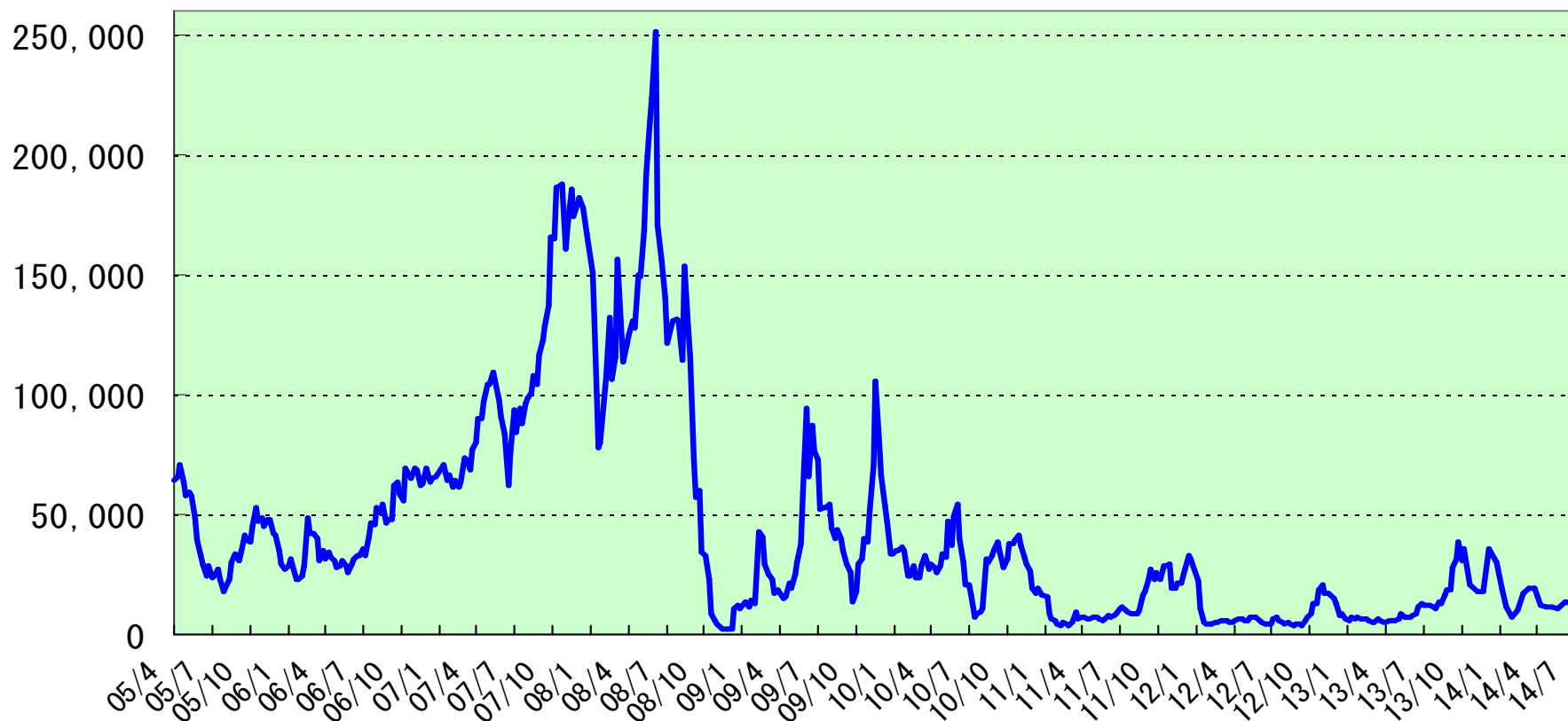




JFE

(\$/日)

参考：原料市況(スポット傭船料推移)





当社の状況

JFE

■ 単体粗鋼/出荷 (万トン)

	2013 年度 (実績)	2014年度上期		
		4-6月	7-9月	計
		(実績)	(見通し)	(見通し)
粗鋼生産	2,867	714	750程度	1,460程度
鋼材出荷	2,552	641	690程度	1,330程度

年間
2,950
程度

平均単価(千円/トン)	75.7	77.9	75程度	76程度
為替レート(円/ドル)	99.8	102.4	102程度	102程度

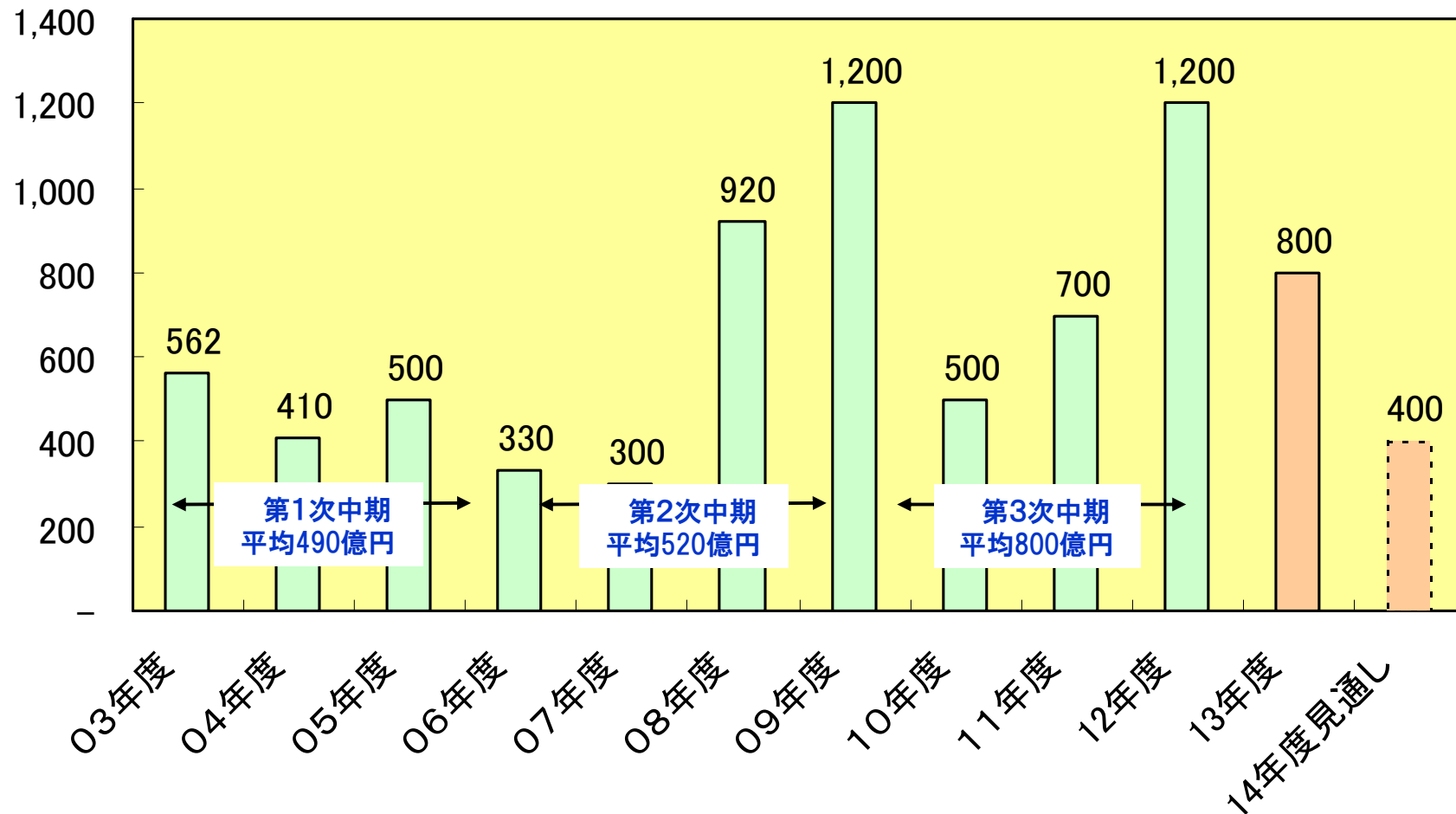
■ 連結粗鋼 (万トン)

粗鋼生産	3,158	787	820程度	1,610程度
------	-------	-----	-------	---------



コスト削減推移(鉄鋼事業)

(億円) コスト削減額推移(JFEスチール発足以降)





JFE

2014年度業績見通し

JFEスチール

単位:億円

JFEスチール (連結)	2013年度			2014年度				年度差異 2013 → 2014
	上期	下期	(実績)	4-6月	上期	下期	(見通し)	
	(実績)	(実績)		(実績)	(見通し)	(見通し)		
売上高	12,949	13,967	26,916	7,035	14,400	-	-	-
経常利益	559	703	1,262	307	600	800	1,400	+ 138
ROS	4.3%	5.0%	4.7%	4.4%	4.2%	-	-	-



JFE

2014年1-3月⇒4-6月 連結経常利益 ▲20億円内訳

単位:億円

JFEスチール	2013年 4-6月	2013年 7-9月	2013年 10-12月	2014年 1-3月	2014年 4-6月	対直前 四半期
経常利益	262	297	376	327	307	▲ 20

■ コスト削減 + 0

■ 数量・販価・原料 + 100 ⇒

主原料価格ダウン等

■ 棚卸資産評価差等 ▲ 120

■ その他 ± 0 ⇒

エネ価格アップ、外部配当他

合計 ▲ 20



JFE

参考)2014年4-6月⇒7-9月 連結経常利益▲14億円内訳

単位:億円

JFEスチール	2014年度(見通し)			差異 4-6月→ 7-9月
	4-6月	7-9月	上期	
経常利益	307	293	600	▲ 14

■ コスト削減 + 20

■ 数量・販価・原料 + 100 ⇒

主原料価格ダウン、数量増等

■ その他 ▲ 134 ⇒

廃却、外部配当他

合計 ▲ 14



JFE

2013年度下期⇒2014年度上期

連結経常利益 ▲103億円内訳

単位:億円

JFEスチール	2013年度下期 実績	2014年度上期 見通し	差異 2013下→2014上
経常利益	703	600	▲ 103

- コスト削減 + 100
- 数量・販価・原料 + 200
- 棚卸資産評価差等 ▲ 200
- 為替影響 ▲ 100
- エネルギー価格 ▲ 50
- その他 ▲ 53



主原料価格ダウン等

 合計 ▲ 103



JFE

2014年度上期⇒下期 連結経常利益 +200億円内訳

単位：億円

JFEスチール	2014年度見通し		上下差異 2014上→下
	上期	下期	
経常利益	600	800	+ 200

■ コスト削減 + 100

■ 数量・販価・原料 + 100



主原料価格ダウン等

合計 + 200



JFE

2014年度 連結経常利益 +138億円内訳

単位: 億円

JFEスチール	13年度 実績	14年度 見通し	年度差異 13→14
経常利益	1,262	1,400	+ 138

■ コスト削減 + 400

■ 数量・販価・原料 + 900 ⇒

主原料価格ダウン等

■ 棚卸資産評価差等 ▲ 650

■ 為替影響 ▲ 150 ⇒

ストック▲120、フロー▲30

■ エネルギー価格 ▲ 100

■ その他 ▲ 262 ⇒

賞与、資産廃却他

合計 + 138



JFEエンジニアリング 2014年度 業績見通し



JFEエンジニアリング 2014年度業績見通し

対前年度

(億円)

	2013年度実績		2014年度見通し		増減	増減
	上期	年間	上期	年間	上期	年間
受注高	1,864	3,670	2,300		436	
売上高	1,072	2,841	1,400		328	
経常利益	21	184	0	160	▲ 21	▲ 24

【主な増減要因(13年上期対14年上期)】

受注高	+436	福島 災害廃棄物処理業務 3件受注 等
売上高	+328	前年度からの受注拡大に伴う増加 (2012年度 2,698 →2013年度 3,670)
経常利益	▲ 21	国内建設工事費の上昇、 売上工事構成差 等



JFEエンジニアリング 受注内容

JFE

(億円)

分野	2013年度 上期実績	2014年度 上期見通し	上期増減	2014年度第1四半期の主な受注案件
都市環境	710	1,900	559	福島 災害廃棄物等 焼却・減容化処理業務 ・伊達地方 仮設焼却炉整備・保管・運営事業 ・南相馬市対策地域内廃棄物処理業務 ・葛尾村対策地域内廃棄物処理業務 ごみ処理施設定期点検業務
電力創生	226			
エネルギー	405			
鋼構造	310	400	▲123	仙台塩釜港 岸壁工事 ジャケット製作 橋梁(名取中央高架橋上部工工事等)
その他	212			船舶用バラスト水管理システム (44隻分、商品名:バラストエース)
合計	1,864	2,300	436	



ミャンマー

鋼構造物の製作合弁会社 橋梁ブロック初出荷

JFEエンジニアリング

(2014年7月22日発表)

JFE

J&M Steel Solutions Company Ltd. (2013年11月設立、14年4月稼動)

出資比率: JFEエンジニアリング60%、ミャンマー国建設省公共事業局40%

- ヤンゴン市近郊(中心部より約15km)に生産能力1万トン/年の鋼構造製作工場を完成(既に7千トンを受注。早ければ2015年にも生産能力を2万トン/年に増強の方針)
 - JFEエンジニアリングから日本の高い技術力を導入し、鋼製橋梁、港湾構造物、コンテナクレーン等の設計・製作・架設の営業を展開
- ⇒ ミャンマー国内外における交通インフラ、物流インフラなどの整備に貢献

【橋梁ブロックの初出荷】

(隣国ラオス向けのトラス橋梁200トンの一部)



ミャンマー国での橋梁実績

	橋梁名	完成
1	チンドウイン橋(トラス)	2002
2	ピャーポン橋(トラス)	2005
3	シッタウン橋(トラス)	2006
4	ネピトー官邸前橋(箱)	2007
5	ヤズダイン橋(トラス)	2010
6	シンカン橋(トラス)	2011
7	マロン橋(トラス)	2012
8	ヒンタダ橋(F/S) (トラス)	—
9	シェゴンダイン高架橋(鋼箱桁橋)	2013
10	ダラ地区フェリー棧橋	2014



JFE商事
2014年度 業績見通し



JFE商事 2014年度業績見通し

JFE

対前年度

(億円)

	2013年度実績		2014年度見通し		増減 年間
	上期	年間	上期	年間	
売上高	8,558	17,813	9,600		
経常利益	104	215	105	240	25

対前年比増収増益

【主な増減要因】

国内鉄鋼： 建材・鋼管の需要を引き続き捕捉するとともに、造船及び自動車をはじめ各製造業向けの鋼材販売数量増加を見込む

鉄鋼貿易： 市況低迷により、輸出は厳しい状況が続くと想定されるが、米国をはじめ各拠点における現地取引を推進し販売数量の増加を図る



JFE商事グループ 北米地域における取組み

米国J商の取組み

JFEブランド5000の積極的推進

- ◆ California Steel Industries (CSI) 製品の北米内現地顧客への販売
- ◆ エネルギー関連向け鋼管の販売

米国J商メキシコシティ支店開設

- ◆ 所在地：メキシコ合衆国メキシコシティ
- ◆ 開設時期：2014年1月

《設立目的》

1. 北中米向けの貿易拠点
⇒メキシコ国内外の需要の捕捉を狙う
2. 自動車産業の集積地
⇒集積する部品メーカーの需要捕捉を狙う

メキシコ内鋼材加工センターJSM設備増強

JFE Shoji Steel de Mexico(JSM)において伸長する需要の捕捉を目的に設備を増強

- ◆ 2013年4月 工場建屋増築
- ◆ 2013年9月 大型斜角設備の導入
⇒米国における変圧器需要の取り込み

VEST社の新規投資と拡販体制整備

在ロサンゼルス¹の溶接鋼管製造業VEST社における建設向け需要（角コラム等）の取込み

- ◆ 2012年末～2013年12月
切断工程の改造工事により歩留り向上
- ◆ 米国西海岸北部に営業拠点を配置し、販売エリアを大きく拡大



JFE

米国JFE商事のグループ会社・VEST社の展開について

1. VEST社概要 : 1970年設立の溶接鋼管メーカー。1987年に現JFE商事が買収し、現在は米国J商の100%子会社。ロサンゼルスに位置し、建材用構造用鋼管をメインに製造・販売。
2. 同社の展開 : リーマンショックにより建材製品の需要は縮小。さらにアジアからの製品流入もあり競争が激化。この環境下、VEST社は 二つの方策によりビジネスを拡大。

商品群の拡充

- ①米国では、太陽光発電の設置が急ピッチで進展
- ②設備投資を行い、製造可能範囲を拡充し、架台用の鋼管需要を取り込み

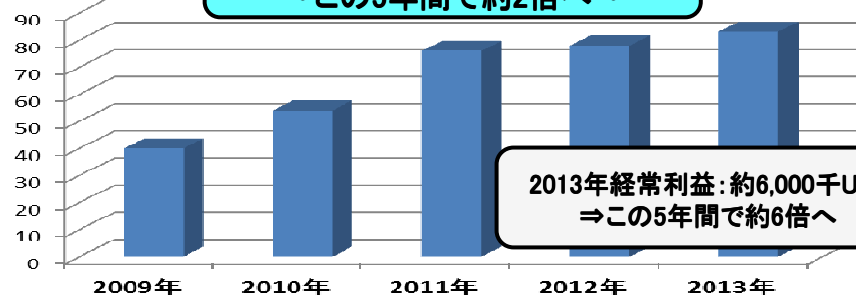


販売エリアの拡大



VEST社 売上高推移 ~この5年間で約2倍へ~

単位: 百万US\$



2013年経常利益: 約6,000千US\$
⇒この5年間で約6倍へ

営業員増により地域密着型の営業を展開、
販売数量全体の2/3以上を新規販売エリアが占める



JFEホールディングス

2014年度 連結業績見通し



2014年度業績見通し

JFE

対前年度

(単位:億円)

	2013年度実績		2014年度見通し		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
売上高	17,283	36,668	19,000		1,717	
営業利益	590	1,533	700		110	
営業外損益	153	203	0		▲ 153	
経常利益	743	1,736	700	1,800	▲ 43	64
特別損益	▲ 36	▲ 131	▲ 70		▲ 34	
税前利益	706	1,605	630		▲ 76	
税・少持	▲ 229	▲ 581	▲ 230		▲ 1	
当期利益	477	1,023	400		▲ 77	

ROS

4.3%

4.7%

3.7%

-0.6%



JFE

中間配当について



JFE

中間配当の件

- 当期の中間配当につきましては、現下の損益状況を踏まえ、1株当たり20円とする予定であります。
- 期末の配当につきましては、今後、業績動向を見極めつつ検討することとしており、未定であります。



JFE

以下參考資料

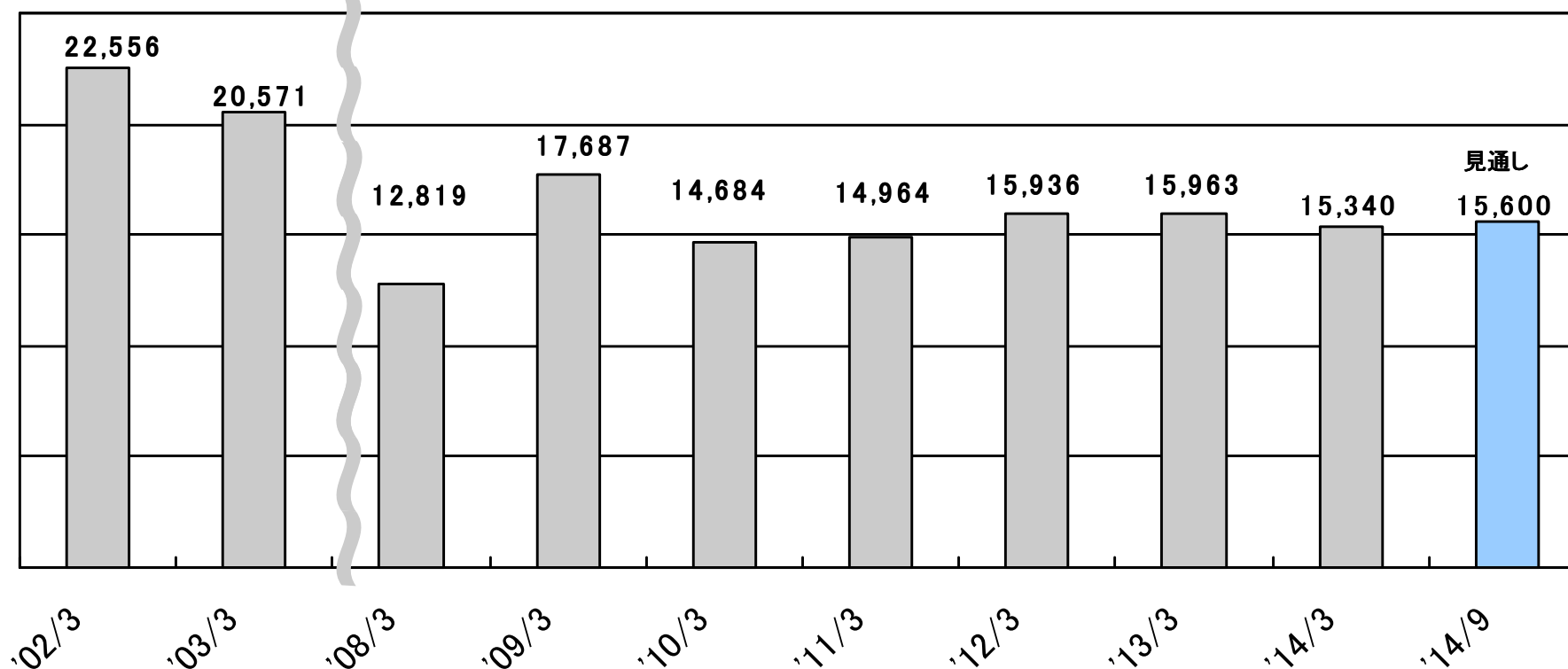


(参考) 2014年度キャッシュフロー

2014年度 上期収支 (見通し)	(億円)
経常利益	700
減価償却	900
設備投資	-1,000
運転収支他	-860
C/Fによる借入増減	-260

借入金残高

(単位: 億円)





JFE

(参考) 主な財務関連データ推移

(見通し)

	2003年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度 上期
【主要財務指標】									
経常利益 (億円)	2,183	5,029	4,005	692	1,658	529	522	1,736	700
ROS ※1	8.8%	14.2%	10.2%	2.4%	5.2%	1.7%	1.6%	4.7%	3.7%
ROE ※2	15.9%	17.5%	13.7%	3.3%	4.1%	-2.6%	2.7%	6.3%	4.7%
ROA ※3	6.5%	13.0%	10.0%	2.2%	4.6%	1.7%	1.6%	4.5%	3.7%
D/Eレシオ ※4	246.2%	61.4%	98.9%	75.5%	76.5%	83.5%	76.9%	67.9%	68.6%
【株式関連】									
当期純利益 (円/株)	185.8	450.6	355.6	86.4	110.7	-68.7	71.2	177.4	69.3
配当金 (円/株)	30	120	90	20	35	20	20	40	* 20

※1 売上高経常利益率(ROS) = 経常利益/売上高 × 100

* 中間配当(予定)

※2 自己資本利益率(ROE) = 当期純利益/期中平均自己資本 × 100

※3 総資産金利前経常利益率(ROA) = (経常利益 + 支払利息)/期中平均総資産 × 100

※4 D/Eレシオ = 借入金・社債残高/自己資本 × 100

但し、格付け評価上の資本性を併せ持つ負債(3,000億円)について、格付機関の評価により75%を資本に参入

2014年度上期(見通し)のROE,ROAにつきましては上期利益見通しを年率換算(×2)とし、算出しております



JFE

(参考) 2013年度上期⇒2014年度上期
連結経常利益 +41億円内訳

単位: 億円

JFEスチール	13年度上期 実績	14年度上期 見通し	差異 2013上→2014上
経常利益	559	600	+ 41

- コスト削減 + 200
- 数量・販価・原料 + 600
- 棚卸資産評価差等 ▲ 500
- 為替影響 ▲ 100
- エネルギー価格 ▲ 50
- その他 ▲ 109

⇒ 主原料価格ダウン等

合計 + 41



JFE

(参考) 2013年4-6月⇒2014年4-6月

連結経常利益 +45億円内訳

単位:億円

JFEスチール	2013年 4-6月	2013年 7-9月	2013年 10-12月	2014年 1-3月	2014年 4-6月	対直前 四半期
経常利益	262	297	376	327	307	+ 45

■ コスト削減 + 150

■ 数量・販価・原料 + 400



主原料価格ダウン等

■ 棚卸資産評価差等 ▲ 400

■ 為替影響 ▲ 80

■ エネルギー価格 ▲ 20

■ その他 ▲ 5

合計 + 45



JFE

海外事業投資の進捗他 (鉄鋼関連)



主な海外事業投資の状況①

	会社名	所在国	出資比率	投資内容 (能力)	FY12	FY13	FY14
自動車	GJSS <small>スチール</small>	中国	50%	冷延(180万t/年) CAL(100万t/年) 第2CGL(40万t/年)	▲ 稼動 ⇒1期と合せCGL80万t体制化 ▲ 広州薄板(Bao子会社)に パートナー変更		
	JSGT <small>スチール</small>	タイ	100%	CGL(40万t/年)		▲ 稼動(タイ初の自動車用CGL)	
	JSGI <small>スチール</small>	インドネシア	100%	CGL(40万t/年)		▲ 投資決定 ⇒16年3月稼動予定 (インドネシア初の自動車用CGL)	
	JSW <small>スチール</small>	インド	15%	第2冷延(230万t/年) CAL(95万t/年×2) CGL(40万t/年)	冷延稼動 ▲ 第1CAL,CGL稼動 ▲		第2CAL稼動 ▲
	r. bourgeois JFE Shoji <small>商事</small>	米国	50%	モーターコア製造			▲ 合併会社設立 ⇒HEV・EV需要を補足
	TCR <small>スチール</small>	タイ	36%	冷延(100万t/年)	▲		株式一部買戻し ⇒イコールメジャー化



主な海外事業投資の状況②

	会社名	所在国	出資比率	投資内容	FY12	FY13	FY14
エネルギー	CSI <small>スチール</small>	米国	50%	第2電縫管ミル (36万t/年)			▲ 稼動予定
	Benoit <small>スチール</small>	米国	15%	油井管加工	▲ 買収完了	エネルギー関連需要の 拡大を補足	
容器	JFE金属容器 <small>JFEコンテナ</small>	中国	80%	ドラム缶製造工場 (420万缶/年)	▲ 江蘇工場稼動	▲ 浙江第2工場稼動	
コイルセンター	JSI <small>商事</small>	インド	100%	新設 (30千t/年)	▲ 稼動		
	JSHP <small>商事</small>	ベトナム	100%	新設 (48千t/年)			▲ 稼動
	JSSI <small>商事</small>	インドネシア	97%	第2工場 (61千t/年)			▲ 稼動
	SASC <small>商事</small>	タイ	70%	2期投資 (200千t/年)		▲	稼動 ⇒ 自動車用広幅鋼板対応



JFE

米国

CSI社の電縫管製造設備新設

JFEスチール

2012年7月31日公表

CSI (California Steel Industries)社 : JFEスチールの50%出資会社

シェールガスなどエネルギー需要の拡大により、鋼管需要の拡大、厚肉化・高強度化など鋼管の高級化ニーズ
⇒ これらに対応するため、最新の電縫管製造設備を導入

【新設電縫管製造設備】

- ・生産能力 40万ショートトン/年
(1ショートトン(st)は0.9072メトリックトン)
- ・従来の製造可能最大外径16インチを上回る外径24インチまでの鋼管が製造可能
- ・2014年8月稼動予定



世界トップレベルの商品・技術開発の推進

★ 5年連続 大河内賞, 2年連続 R&D 100 Awards受賞 ★

省資源・環境

- ・Super-SINTER® (2014全国発明表彰他)
- ・Super-SINTER® OXY
- ・省資源型高耐熱ステンレス鋼「JFE-TF1」
(2014 R&D 100 Awards)



国土強靱化

- ・耐震ラインパイプHIPER®
(2013 大河内賞、R&D100Awards)
- ・HBL® 385 (2010市村産業賞)
- ・耐震・制振デバイス(鋼管ブレース)
(2013市村産業賞)



自動車・Iレギ

- ・JAZ®
(2009 大河内賞、2011 ものづくり日本大賞他)
- ・NANOハイテン® (2011大河内賞他)
- ・ハイテンGAシリーズ
- ・JFE-UHP®-17CR-110





参考) 鉄鋼分野技術の主な社外表彰受賞歴

	受賞案件	年度	賞名
省資源・環境	Super-SINTER®	2010	2010年日経地球環境技術賞大賞
		2011	第38回岩谷直治記念賞
		2014	平成26年度全国発明表彰 経済産業大臣発明賞
	低NOx、省エネルギーへ貢献する加熱炉用バーナ	2010	平成22年度谷川熱技術賞
	LP鋼板	2012	第43回市村産業賞 貢献賞
		2013	第5回ものづくり日本大賞 優秀賞
APR(使用済みプラスチックの製鉄向け微噴化技術)	2012	2012年日経地球環境技術賞 優秀賞	
	2013	第40回岩谷直治記念賞	
(5社共同) 省エネルギー型コークス製造技術	2012	第59回 大河内記念生産賞	
省資源型高耐熱ステンレス鋼「JFE-TF1」	2014	2014 R&D 100 Awards	
国土強靱化	HBL®385	2010	第42回市村産業賞 貢献賞
		2014	平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(開発部門)
	HIPER®	2010	平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(開発部門)
		2013	2013 R&D 100 Awards
		2014	第60回 大河内記念技術賞
耐震安全性を実現するデザイン性に優れた鋼管ブレース	2013	第44回市村産業賞 貢献賞	
超大入熱溶接用高強度鋼板	2013	第5回ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞	
J-STAR®溶接技術(スパッタ低減溶接技術)	2009	第3回ものづくり日本大賞 優秀賞	
	2011	第58回 大河内記念技術賞	
	2013	平成25年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(開発部門)	
自動車・エネ	JAZ®	2009	第56回 大河内記念生産賞
		2011	平成23年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(開発部門)
		2011	第4回ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞
NANOハイテン®	2010	第57回 大河内記念賞	
	2010	第24回独創性を拓く先端技術大賞経済産業大臣賞	
高靱性電縫管の溶接品質オンライン検査システム	2014	第11回新機械振興賞 会長賞	